

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(124)、(157)」

2. 日時：令和4年7月27日（水）16時20分～19時15分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、海田主任安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官※、大井安全審査専門職※、馬場係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他11名※

電力中央研究所 1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）
- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）補足説明資料
- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）データ集
- ・審査資料の品質確認について（コメント回答）
- ・浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。それでは時間になりましたので浜岡原子力発電所のヒアリングの方を始めたいと思います。今日は敷地の地質地質構造こちらのコメント回答と、
0:00:14	あとは品質確認のコメント回答ということでこの2件になりますけども、まず、地質地質構造のですねコメント回答の方について中部電力の方から、資料の説明の方をお願いします。
0:00:30	中部電力浜野でございます。7月13日に実施いただきました、敷地の地質地質構造についてのヒアリングでご確認いただきました。
0:00:40	事項につきましてよりわかりやすさ等で資料を修正して参りましたのでご説明をさせていただきたいと思います。大体35分程度かなと思っております。よろしくお願いいたします。
0:00:55	中部電力の森本ですよろしく申し上げます。
0:00:58	資料ですけれども右肩の番号一応C238R01。
0:01:04	のものを使得まずご説明します前回からの変更点を中心に説明させていただきます。
0:01:11	まず資料全体通してですけれどもニシキさんの方からご指摘いただきました、用語の用い方。
0:01:18	としてですねBF4地点の泥層と言ったものについては、かぎ括弧つきの泥層と表現を改めて、
0:01:27	おります。
0:01:28	定義については、一番最初に、その泥層の記載が出てきます。17ページ。
0:01:38	の157ページの1ポツに記載しております、BF4地点における相良層状井野D種堆積物を括弧つきの0層と表記するとしております。
0:01:51	これで資料全体記載を統一しております。
0:01:55	それからもう1点資料中、相良層と相良層群が混在してございましたので、この資料で
0:02:03	行動してございましたけれどもこの資料の中で述べている地層というのは、
0:02:08	相良層群のうちの相良層でございますので、相良層として今回統一しております。
0:02:15	用語の持ち方としてはそういった統一を行いました。
0:02:22	それでは
0:02:25	資料の方ですね、5ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:27	からになります、
0:02:30	今回実施いたしました追加検討について、前回ヒアリングから中身を充実させて参りましたのでそちらの方から説明させて、
0:02:40	いただきます。
0:02:42	前回のヒアリングでご指摘ですけれどもいただいたご指摘ですけれども、12 ページ、
0:02:48	お願いします。
0:02:49	こちらのページです、スライドをこちらのスライドで、検討の流れはわかるんですけども、具体的な調査結果がどのように評価に結びついているの。
0:03:00	下が見えにくいというご指摘をいただいております。
0:03:05	また古谷泥層だと、泥層が古谷泥層だと評価している根拠との関係が、前回会合からどのように変わったのかが読み取れないと。
0:03:14	いうご指摘もいただいております。
0:03:18	ですので、今回、少し戻っていただきまして7 ページになります、
0:03:23	まずこちらのスライドで、前回どういった説明をしていて、どこに課題があったのかと。
0:03:30	を説明しております。
0:03:32	次の8 ページで、
0:03:34	企業調査のどういった内容を手がかりに追加検討を行ったのかというのをまとめております。
0:03:41	次9 ページ、その追加検討によりまして、何が明らかになって、それを根拠にして、泥層年代をどう評価したのかと。
0:03:51	いうのをまとめております。
0:03:53	で、前後の比較として、11 ページ。
0:03:57	にですね、追加検討前後の関係を上下の表で比較したものを追加いたしました。こちらについてまず、説明させていただきます。
0:04:08	まず最初の7 ページになります、
0:04:13	前回、どういった内容でご説明していたかというものでございますが、上の箱書き、赤字で記載しております。泥層の堆積環境、
0:04:24	それから、泥層と古谷泥層の比較。
0:04:28	この2 点から、泥層の体積
0:04:31	年代の評価を説明しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:34	そのうち年代の主たる根拠としていたのが、泥層の堆積環境の方でございまして、
0:04:40	B F 4 線の調査結果、具体的にはですね、表の下の表で赤字で囲っている部分。
0:04:48	エキスが海上の層理だとか放散虫化石がある。
0:04:52	変成岩火成岩を含む円礫が認められると。
0:04:56	マンガン成分に富むざくろ石があると、こういった B F 4 地点の調査結果から、
0:05:01	泥層というのは、
0:05:03	海成メーカーの比較的大きい水深で堆積したと考察しまして、これを主たる根拠として、
0:05:11	泥層は古谷泥層に対する 12 から 13 万年前の地層だという評価をご説明しておりました。
0:05:18	もう 1 点、泥層括弧つきの泥層と古谷泥層との比較については、
0:05:25	層相ですとか、花粉微化石の検出状況に、
0:05:29	古谷泥層と泥層で違いがございましたが、
0:05:33	具体的には、
0:05:36	違いがございました。具体的な内容としては、下の表で赤字で示している箇所でございます。
0:05:42	そういった違いはあるんですけども、その違いというのは地域差、または、
0:05:47	泥層の風化によるものでありまして、
0:05:50	この地層が古谷泥層に対比されるとする上で影響ないものという考察を説明しておりました。
0:05:57	3 月の会合でご指摘いただいたのは、その鍵括弧泥層との堆積環境の再検討が必要と。
0:06:07	ということと、古谷泥層と違いがある部分、
0:06:11	こちらについての考察が不十分という認識でおります。
0:06:16	次の 8 ページになりますが、そういった観点でですね、まず古谷泥層と違いがあると説明しておりました。層相。
0:06:26	それから花粉の産出状況等につきまして、企業調査結果の精査を行っております。こちらの内容 6 月の会合でもご説明しましたが、金地点のボーリングデータを細かく見ていると。
0:06:39	箱書きの青字の部分になりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:43	今まで泥層と層相が異なると。
0:06:47	説明しておりました引地線の、
0:06:50	古谷泥層株層準こちらについては、べき主体であります、
0:06:56	小原儀間井関層に当たる可能性が考えられまして、
0:07:01	B F M T - 泥層 - 層相と類似点が出てくる可能性もあるので、今回露頭調査を行って、
0:07:09	品質点の層相をより広範囲で確認しております。
0:07:13	その下花粉微化石についても、古谷泥層では、たくさん出ている、B F 4 地点の泥層では、
0:07:21	出にくいと。
0:07:22	説明しておりましたが、
0:07:24	古谷泥層にはそもそも花粉微化石が出にくい層準があるのではないかと考えまして、今回文献の調査、追加の分析を行っております。
0:07:35	それらの追加検討の内容とその結果をまとめたものが9ページでございます。
0:07:43	9ページ上の文章は、具体的にどういった調査をやってその結果何がわかったのかと、その結果の、何を、主たる根拠として、
0:07:54	B F 4 地点の泥層を古谷泥層相当と評価したのかというのを記載しております。
0:08:00	その内容を表でまとめたものが、下にある表でございます。
0:08:07	こちらの表と同じものが11ページ。
0:08:11	でございます。こちらの下側の表が、先ほどの9ページの下の表でございますのでこちらのスライドで、内容をご説明します。
0:08:23	11ページのスライド上側がですね先ほど7ページ説明した、追加検討前の調査結果でございますが、
0:08:32	上の表で赤字で書いた部分。
0:08:34	B F M マツスエの泥層と古谷泥層で違いがあると説明していた。
0:08:38	層相花粉微化石の調査結果が、下側の表の青字で示した部分、今回古谷泥層種詳細に観察分析することで、
0:08:49	両者の類似点がしっかり確認できております。
0:08:53	またG N S 分析の結果も類似していることをあわせて確認したというものです。
0:09:01	で、今回は、
0:09:03	下の黄色い箱書きの部分になりますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:09	これは層相ですとか、花粉微化石、こういったものを主たる根拠として、
0:09:16	B F 4 地点の泥層は古谷泥層株に対比されるという評価をしております。
0:09:22	3月の会合では先ほどご説明したように、右上の黄色い上側の黄色い箱、泥層の堆積環境、
0:09:30	B F 4 地点の調査結果から恒設した堆積環境を、こちらを主たる根拠として、
0:09:38	B F 4 地点の泥層というのは、12 から 13 万年前の地層だと古谷泥層相当だという評価をしておりましたが、今回はその下、右下の黄色い箱になります。
0:09:50	古谷泥層等の堆積環境に関する調査結果の類似点これを軸として、古谷泥層相当だという評価を行っております。
0:10:00	その下、一番右下になりますけれども古谷泥層の堆積環境につきましては、
0:10:06	古谷泥層、
0:10:08	小原イマイ関層の調査結果と、B F 反射のデータの比較結果に基づきまして、開始に伴いちん推移した作業において、堆積したという考察をしております。
0:10:21	前は上の比表赤枠だけ赤、表でですね赤枠で囲った部分から、生み出せ水だと、いう考察をしておりましたが、今回は、下の表、
0:10:32	青枠で囲っている部分。
0:10:35	小原儀間井関層の耐震環境に関する調査結果と比較して、追加検討によりまして、類似点が認められたと。
0:10:43	ということで、
0:10:45	今まで海成水とご説明した、
0:10:48	していた環境がより細かく、
0:10:51	改正に伴い治水した覚えタニと考察できるようになったというものでございます。
0:10:58	本日の資料ではこういったスライドを追加いたしましてどういった目的で何を確認して、その結果を受けて、評価としてどう見直したのか。
0:11:08	というのを説明する、資料を冒頭に、
0:11:12	追加させていただきました。
0:11:16	この後 12 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:18	からは、
0:11:19	まず 12 ページですけれども一連の追加調査結果を取り込んで、
0:11:24	泥層の堆積年代評価をご説明する流れを示しております。
0:11:29	この流れについては、2 週間前、実施いただいたヒアリングと同じもので、
0:11:34	ございます。
0:11:38	資料の方はですね 14 ページから、
0:11:40	その流れに沿った構成となっておりますので、
0:11:44	そちらの方を、前回からの変更点を中心にこちらについても、ご説明させていただきます。
0:11:54	中身の方に入っていきます、まず 17 ページ、先ほど繰り返しになりますけれども、箱書きの 1 ポツ、B F 4 地点の D 種堆積物につきましては、かぎ括弧つきの泥層と、
0:12:07	して表記するように、資料全体を修正しております。
0:12:12	これに伴いまして、層相監査基準についても、適宜、適正化を図っております。
0:12:21	続いて 36 ページまで飛んでいただきまして
0:12:27	ここから、その泥層の B F M T - 泥層の堆積年代評価についての
0:12:33	スライドになります。
0:12:37	まず、40 ページをお願いします。
0:12:42	こちらが一番最初にやっている地形層序解析。
0:12:46	のスライドでございます。
0:12:48	地形判読図がございまして、ございますが、
0:12:54	右下の黄色い箱書きで、従来、地形判読図として記載しておりました笠名面層とそれから御前崎面相当、こちらについては、若干性を確保するために、今回の資料、
0:13:06	これは記載しないこととしておりますのでその旨を追記しております。
0:13:12	次 41 ページ、こちらは地形等例断面図になります。
0:13:19	断面図内、ご指摘いただいておりますのが B F 4 地点周辺の歴史堆積物の分布地点三つと、
0:13:28	それから B F 1 地点、
0:13:30	の情報を追加しております。
0:13:34	それから前回部屋の資料ではこのスライドの後、海水準変動曲線を使ったスライド。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:41	説明スライドを入れておりました。
0:13:44	今回 41 ページの右上の黄色い箱に記載しておりますが、
0:13:50	地形学的に、泥層に対比される可能性が高い地層の検討につきましては、従来、海水準変動と隆起過程の関係から検討しておりましたけれども、
0:14:01	今回は前崎地域の地形地質を俯瞰的、広域的に把握できる地形層序解析から検討しておりますので、
0:14:10	海水準変動を使った説明。
0:14:13	このスライドについては、一応見直しておりますまた後程ご説明します。
0:14:22	続いて、
0:14:27	44 ページからの内容になります。古谷泥層、それから笠名礫層の調査について説明した章で、
0:14:34	ございます。
0:14:36	46 ページ。
0:14:38	になりますが、こちらは古谷泥層の文献の内容を説明したスライドになります。
0:14:44	こういった文献のスライドには、図面、発電所と主な調査地点の位置を落としております。
0:14:52	他のスライドも同様でございます。
0:14:55	それから文献についていただいたご指摘で貧化石についての知見を丁寧に示すことというご指摘カイダさんからいただいております。
0:15:06	48 ページになりますが、
0:15:09	今回スライド 1 枚にまとめております。
0:15:12	三つほど文献引用いたしまして、化石が出にくいことが示されている地点を平面図にまとめて落としております。
0:15:21	1 例としてですね化石の産出状況を示す柱状図を載せておりますが、
0:15:28	下部からは、古谷泥層の下部から甲斐化石も有効中化石もないというのが、示された文献。
0:15:35	でございます。
0:15:37	こういったものを複数確認しているというものです。
0:15:44	この後具体的に古谷泥層の調査を示す、示しておりますが、51 ページ。
0:15:52	まず比木 2 地点の調査地点の説明についてですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:58	古谷泥層-2 地点の露頭の位置関係がわかりにくいというご指摘ございましたので、平面図で、当位置を詳細に示しております。また露頭の名称についても、
0:16:11	上流側と下流側露頭として資料中、
0:16:14	統一して記載をしております。
0:16:21	続いて比2 地点の調査結果を説明する中で 54 ページの内容になりますが、
0:16:31	こちらは日にち性のボーリングコア
0:16:36	を説明したスライドになります。
0:16:40	こちら、皮膚レデューサの会にあたる深度、このコア写真の下の新 46.50 から 46.65、こちらの砂岩泥岩こそ、
0:16:53	最終的に、
0:16:55	どう考えているのかというご質問を前回ヒアリングでいただいております。
0:17:01	注書きで、以前書いておりましたけれども、今回、左上
0:17:09	それから2 番目の箱書きに、こう考えているという考えをしっかりと書きました。
0:17:15	箱書きの内容ですけれども、この地層については、直下に割れ目が認められるので、
0:17:21	相良層の一部か、相良層のブロック、いずれかであると考えられますけれども、柱状図の観察基準を含めましてボーリングコアだけから判断できないと。
0:17:32	いうものでございます。
0:17:34	この深度で採取した資料から、検出された花粉、116 個という数がございましてけれども、こちらについては、後程ご説明する露頭において確認した相良層直上の、
0:17:46	古谷泥層-花粉のサービス状況とは異なりますので、
0:17:50	異なるということと、相良層にはですね花粉が含まれないと考えられますので、
0:17:57	相良層堆積後から触れ合う泥層堆積前までに購入した、花粉だという判断をしております。
0:18:06	その露頭の花粉の産出状況を示したスライドが、60 ページでございまして。
0:18:19	前回のヒアリングでは、図面の右下、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:28	137 行の花粉が出た資料のみ。
0:18:33	松田とか、C、こういった言説の購入が認められるとしておりましたが、
0:18:38	佐口さんからもご指摘いただいておりましたけれども、こちらの記載として適切ではなくて、言説の購入があるのは、数字の後に、鍵括弧をつけております 3 資料。
0:18:50	でございます。ただいずれにしても、この 1 体、この層準というのが花粉が少ない層準だと、ということが確認できたというものでございますので、その旨を箱書きに記載しております。
0:19:07	次、
0:19:08	61 ページが、こういった花粉を踏まえて、作成しております花粉のダイヤグラムでございます。
0:19:17	今回ポイントとなる下部のデータの反映状況が見えないというご指摘踏まえまして、次の 62 ページに、
0:19:25	今回花粉が出にくいとした最下部の、データの詳細を示しております。
0:19:33	ダイヤグラムはボーリングコア露頭から採取した試料の分析結果を標高ごとに整理して作成しております、
0:19:42	今回新たに実施したものを含め、花粉の分析結果というのはすべてダイヤグラムのほうに反映しております。
0:19:51	ここで黄色い箱書きで記載しておりますが、
0:19:56	先ほどご説明したボーリングコアで確認できる、
0:20:02	花粉 116 の花粉というのは、
0:20:04	左等の 10 番のデータに当たりますけれども、10 番のデータというのは、
0:20:10	右側に示しております相良層の基盤直上の古谷泥層－花粉の
0:20:16	出方、⑤だとか⑥の出方と、
0:20:20	異なるということが、今回確認できましたので、そういったものも、判断根拠として、
0:20:27	⑩のデータについては、相良層堆積後から古谷泥層堆積前までに購入したという判断をしております。
0:20:39	続いての変更点ですけれども 63 ページ。
0:20:44	です。
0:20:45	こちら引き継ぎの古谷泥層の調査結果についてまとめたスライドでございますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:53	火山灰分析の結果の記載が前回の資料で抜け落ちておりましたので、箱書きの一番最後に追加をしております方にも追加しております。
0:21:04	火山ガラス、重鉍物、
0:21:06	というのは、非均一性の古谷泥層からは、全層準を通じて、ほとんど検出されていないと。
0:21:12	いうものでございます。
0:21:17	続いての変更点ですけれども、BF1地点の古谷泥層の調査の方に入りまして、68ページ。
0:21:26	をお願いします。
0:21:30	こちらは、従来古谷泥層と評価していた部分が、花粉分析を踏まえると、
0:21:37	古谷泥層ではないと、評価しましたというのを説明したスライドになりますが、
0:21:43	古谷泥層ではないと評価するのは、じゃあ何なんだというご指摘。
0:21:48	前回いただいておりました。
0:21:50	キソイとしては左の箱書きの3ポツ目になりますが、一番最後の部分へ、この層準という方赤道
0:21:58	と考えておりますのでその旨記載しております。
0:22:07	続いての変更点、74ページをお願いします。
0:22:12	こちらはBF1地点の調査結果をまとめたものでございますが、こちらについても、
0:22:18	火山灰分析の結果の記載が抜けておりましたので、箱書きの一番最後に、火山灰分析の結果を追記しておりますこちらについても、
0:22:30	ガラスだとか重鉍物はほとんど検出されていないという結果でございます。
0:22:40	続いて77ページになります。こういった比木2地点BF1地点の調査結果をまとめて古谷泥層町層相古谷泥層の調査のまとめを
0:22:50	示したスライドでございます。
0:22:54	箱書きの一番最後にですね今回し、追加したCN-S分析の結果、
0:23:00	CS引いてみますと、
0:23:03	淡水生堆積物の値を、古谷泥層の株を示しているということについての考察を、三行追加しております。
0:23:12	Cs値としては淡水生の値を示しておりますけれども、
0:23:17	非均一性の堆積層ですとか、火山、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:21	比木地点と B F 1 地点の花粉層状の対比結果、これを踏まえますといずれの層準の回診の影響を受けた層準だと。
0:23:30	海の影響は入っている地層だという考察を加えております。
0:23:41	これが古谷泥層の調査結果についての
0:23:47	変更点でございます。
0:23:55	続いての、
0:23:59	水位変更追加箇所でございますが 87 ページをお願いします。
0:24:04	こういった古谷泥層の結果と調査結果と、 B F 4 地点の古江泥層。
0:24:13	結果を比較して、まず層相から比較したスライドになりますけれども、この類似点、それから、相違点、
0:24:21	非均一性の古谷泥層と B F 4 地点がどう、
0:24:25	一緒なのか違うのかという今回確認した内容を、スライド 1 枚でまとめて、
0:24:31	おります。
0:24:33	右下に類似点相違点として記載しておりますけれども、似ている点として、比較的 M R の高い硬岩力が含まれておりまして、基質がシルト質だと。
0:24:44	礫まじりシルト層、力が技術中に、そうなしで浮いているような層準が認められると。
0:24:50	ただ間違う点としては、
0:24:53	基質の粒度、
0:24:54	で見ますと、 B F 4 地点よりも比木 2 地点の泥層の方が粗くて、
0:24:59	B F S への泥層というのは海上の層理であるのに対し、技術への古谷泥層平行寄りの認められるユニットもあると。
0:25:07	ということで類似点と相違点をまとめております。
0:25:16	この後、こういった古谷泥層と似ている点があるというのを説明した後、 88 ページで
0:25:24	椎野笠名礫層で見ますと、似ている点がないと。
0:25:29	笠名礫層の中には振れ上げ B F 時点でそのような D I S ユニットはないというのを説明しておりますが、
0:25:40	前回から追加したスライドとしてこの後、 90 ページ。
0:25:44	2、
0:25:49	安保椎野、カンシンキに谷埋め堆積物が存在しないのかという点についてスライドを 1 枚追加させて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:57	いただきました。
0:25:59	箱がキーの内容 2 ポツ目からの内容になりますけれども、
0:26:04	古谷泥層と同じような、M I S 5 c の下位新規の谷埋め堆積物が存在する可能性、これについて検討しますと。
0:26:13	五位においては、
0:26:15	直前の、低海水準期がM I S 6 になりますが、そこで削り込まれた大規模な谷地形をタニというのが存在するのに対し、
0:26:24	母子、
0:26:26	におきましては、海水準変動曲線の通り、直前の、
0:26:31	低海水準金が、5D になりますけれども、そのタイミングで、の
0:26:39	海水面の低下量が比較的小さく、タニ地形が形成されにくいことから、
0:26:45	ご支援に谷埋め堆積物が、
0:26:48	埋めるような、何環境はなかったと考えております。
0:26:53	この内容というのは御前崎地域において、笠名礫層が古谷泥層の上に、波食台沖形成して乗っているということと、
0:27:02	この地域柄上部更新統のうち、谷埋め堆積物というのは氷の古谷泥層のみとされていることも、整合的な内容となっております。
0:27:11	こういった5Cに谷埋めがないんだということを、今回スライドを1枚追加させていただきました。
0:27:21	この後91ページからは里古谷泥層株を試験結果等を含めて、詳細に比較をした内容になりますが、
0:27:30	変更点といたしましては、102ページ。
0:27:36	になります、
0:27:39	取引の形状を比較している部分です。前のページにこういった点で似ているんだ。
0:27:46	ということを述べておりますが、平均値で比較すると、どうなのかという、
0:27:53	観点で今回平均値のデータを、
0:27:56	102ページの方に追加させていただきました。
0:28:00	上のグラフ、中計だとか条件の比率で見ると平均値にそこまで大きな違いはないですけれども、この球形度という観点で見ますと、
0:28:10	古谷泥層－基底礫とは、少し違いが出ていて、円礫造成比べと見ているという結果がえられております。
0:28:23	こういったデータを追加スライドを追加しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:28	こういう、このような詳細な比較結果も含めまして古谷泥層と、
0:28:35	比較結果をまとめた表をですね今回 115 ページに、
0:28:40	追加しております。冒頭ご説明させていただいたスライドと、
0:28:44	同じですけれども、前回、介護で説明していた内容からこういった内容が、類似点が増えたのかと。それを使って、
0:28:55	こういった評価をしているのかというのを 115 ページにスライドとして追加させていただきました。
0:29:03	こういった対比結果を含めまして次の 116 ページ。
0:29:11	B F S への泥層、力が泥層の中に置いているような、
0:29:16	層相しておりますけれどもそれがどうやってたまったのかという考察を、このページでしておりますこのスライドを今回追加しました。
0:29:24	箱書きの 2 ポツ目になりますが、
0:29:27	品質の古谷泥層下部におきましては、B F 4 の泥層と類似した礫まじりシルト層、
0:29:34	①が博明数の中に宗なしで置いてると。
0:29:38	いうユニットが認め、
0:29:40	られるので、この泥層も、このユニットと同様な堆積環境でたまたま考えられます。
0:29:48	この樋口線の礫まじりシルト層ですけれども、付近の地質付近にですね、基質をシルトとする礫層が認められておりますので、
0:29:59	回診初期にこれらの礫層の背後の流速が 4 あった場合によって堆積した可能性が、
0:30:05	考えられます。
0:30:07	なので B F 4 地点の泥層というのもこういった堆積場において形成されたものだ。
0:30:14	考えられますので、その点を考察として追加いたしました。
0:30:21	次 117 ページの内容になりますが、プレゼンスの堆積環境の変遷を、
0:30:29	図 6 で記載されておりますポンチ絵を使って
0:30:34	説明すること。
0:30:35	説明して欲しいというご指摘もいただいておりますので、
0:30:38	そういった堆積環境の変遷を、今回、ポンチ絵に記載して、追加させていただきました。
0:30:46	左の図が一番最初の古谷泥層堆積初期の組織環境になりますけれども、
0:30:53	この

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:56	には図示されておりましたが、BF1地点BF4地点においても、大堀タニ環境があってその時点で、
0:31:06	フリーランスの泥層は堆積したものと考えられますので、その点を体積主として、
0:31:13	今回スライドを追加しております。
0:31:22	こういった古谷泥層と対比にあたってはこのような変更をしております。
0:31:28	続いて章が変わりまして118ページからの内容になりますが、
0:31:33	泥層と局所的な電子堆積物との違いを、説明している部分になります。
0:31:39	前回のヒアリング資料で、少しこの章の立て付けといたしますかな、何と何を比較しているのかという整理ができておりませんでしたので、
0:31:47	今回119ページにですね、こういったものと比べているのかと。
0:31:51	いうのを整理したスライドを追加いたしました。
0:31:56	箱書きの
0:31:59	3ポツ目の内容になりますが、
0:32:03	局所的なディスク堆積物が形成される環境、こういったものかというのを
0:32:10	想定してやりますと、ふたケース考えられまして、浜堤だとか、自然展望の背後という環境と、
0:32:18	狭いタニ付けそれから小規模な凹地いわば故障のような環境、こういったスターケースが考えられますので、
0:32:27	それぞれについて、違う、こういった違いがあるのかという検討をしたというものです。
0:32:32	で、なお書きで一番最後のポツに記載しておりますが、
0:32:36	狭いタニ地形の中にたまった泥層というのは、敷地で確認できる提出堆積物、完新統の泥層が該当いたしますので、そこの違いについて確認を行っているというものでございます。
0:32:51	まず120ページからは、浜堤背後の泥層、諦観湿地だとか後背湿地性のD種堆積物との違いがこういったところにあるのかということで、説明したスライドになります。
0:33:03	121ページは、そういった浜堤背後の間でたまっている泥層っていうのはこういったものかというのを、
0:33:11	想定したスライドになりますが、
0:33:15	まず、浜松の事例を示しておりますけれども、一般的には、浜堤浦野、泥層、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:24	提出堆積物、騒音植物に追われると考えられますので、腐植質だと。
0:33:31	というのが想定されます。そういった面で、次のページ、122 ページ、B F 4 地点の 0 層を見てやると。
0:33:39	そういった腐食だとか、
0:33:41	C N P で見てやっても、陸成植物の影響はほとんどないということで、そういった環境でたまった道路ではないというのが確認しております。
0:33:52	次の 123 ページには、
0:33:55	そういった浜堤浦野環境になるのっていつなのかというのをタイミングがいつなのかというのでここで海水準変動曲線を使って説明をしております。
0:34:08	主比木地点の行松原砂層のオウジョウ面の隆起か、隆起速度を使って検討しておりますと、5 市、
0:34:17	がそういった、浜野浦。
0:34:20	に当たると考えられますので、そういった環境の
0:34:24	溜まった泥層ではないというのを、ここで示しているというものでございます。
0:34:32	次の 124 ページにはその想定に使っている影響松原砂層、
0:34:37	堀江木曾工藤、なぜ営業松原砂層の隆起速度を用いたかというのを説明しているスライドでございますが、
0:34:50	より広範囲で牧ノ原第 1、
0:34:53	に分布している、海成砂層のデータを使ったというものでございます。京松原砂層についてはですね、この地域に水平に、
0:35:02	概ね水平に堆積していることを確認した上で、このデータを用いていると。
0:35:06	いう内容でございます。
0:35:09	次の 125 ページからは、保障性のリース堆積物との違いということで小規模な谷地形だとか、小規模な河内こういったところで溜まった泥層と何が違うのかというのを説明したスライドでございます。
0:35:23	そういった環境でたまった泥層、敷地での近くでどういったものがあるのかというので見てやりますと、126 ページになりますが、
0:35:33	津波堆積物で調査しております。
0:35:36	角田フィールドの調査で出てきている提出堆積物、これはですねまさに単一系。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:43	狭隘地形溜まった、陸成の泥層でございますので、その泥層との違いを検討してやったというたてつけでございます。
0:35:55	具体的な違いを 130 ページでご説明しております。
0:36:01	前回何、何を主眼に置いて、泥層との違いを説明しているのか、いうのがわかりにくいというご指摘が、
0:36:08	ございましたが、箱書きの 3 ポツ目。
0:36:12	にございますが、含まれている利益に着目しますと、いずれの地点、
0:36:20	においても、
0:36:22	このスピーチの中で確認している、狭いタニ付の中に入っている泥層というのは、相良層の力でございます、
0:36:30	ビー・エム・エルジェーソンに確認されているような硬岩力というのは含まれておりません。こういった観点で、これ、
0:36:40	保障性狭いタニ知見溜まった、電子碎石物は性状が異なっていると。
0:36:45	いうものでございますのでその旨を明記いたしました。
0:36:50	131 ページには、
0:36:53	局所的なレース堆積物との違うフォーマットのまとめといたしまして、
0:36:59	まず一つ目定款湿地だとか、後背湿地へ進展の裏でたまってるのは泥層とも違いますし、
0:37:06	マルBとして二つ目。
0:37:09	呼称性能D種堆積物、狭隘の単一に溜まった、リリース堆積物の違いが見られると、いうことで、こういった泥層との違いを確認している。
0:37:20	いうことをまとめております。
0:37:25	こういった検討から、見過ごしの堆積物だということを説明しておりますのでその点については前回のヒアリングの構成から変わっておりません。
0:37:37	本日本編の方には最後、134 ページに、
0:37:41	ここまで
0:37:43	ご説明したような、t h i s 堆積物の堆積年代評価を含めまして、1Q 断層の最新活動時期というのを、こういうロジックで評価しているというのを文章でまとめたスライドを、
0:37:55	本日は追加しております。
0:37:58	本編の変更点については以上でございます。
0:38:03	最後補足説明資料、それからデータ集の変更点についてご説明させていただきます。まず補足説明資料、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:11	別冊の右肩の番号が一応C239。
0:38:17	の資料になります。
0:38:21	変更点としては、
0:38:25	15ページと16ページ。
0:38:28	になりますが、
0:38:30	B F 1 地点の層相を説明しているボーリングの結果が前回の資料だと抜け落ちておりましたので、その二つのスライドを、
0:38:40	今回追加しております。
0:38:44	それから15ページの内容ですけれども、前回会合の資料において、動きがあることを今回確認いたしまして、その旨についても記載させていただいて、
0:38:58	おります。
0:38:59	箱書きの1ポツ目、
0:39:02	ボーリングの坑口方向は54.85メートルであると、ちょっと今回正しい値を記載しておりますが、前回会合の資料ですと、市、
0:39:12	下の黄色い箱書きにございますが、54.94メートルと。
0:39:16	違う数値が、転記ミス入っておりましたので、その旨今回訂正させていただきました。
0:39:28	それから、補足説明資料の追加の変更点ですけれども、
0:39:34	20ページから、
0:39:37	歴す。
0:39:38	B F 4 地点、ごく近傍の礫層について前回礫層と表現していたものについては、
0:39:46	今回歴史堆積物という表現に改めております。
0:39:53	それから、続いての変更点ですけれども、資料の37ページ。
0:40:05	プランの内容になりますが、
0:40:07	本編の方で模式柱状図を示しておりますが、こちらの作成プロセスが、
0:40:13	見えないと。
0:40:14	ブラックボックスだというご指摘をいただいておりますので、今回、模式柱状図については、こういったデータから作成しているのかというそのバックデータ、
0:40:25	投影模式柱状図の作成プロセス、
0:40:27	こちらでご説明するスライドを、
0:40:31	追加させていただきました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:34	補足説明資料の変更追加点については以上でございます。
0:40:40	それから最後のデータ集でございますけれども、
0:40:54	ページで言いますと、67 ページから、花粉分析結果、
0:40:59	を載せておりますが、
0:41:01	今回追加調査だけではなくて、基本調査における下部積極化も、過去資料の再掲ということで追加させていただきました。
0:41:11	それから 75 ページからの内容になりますが、C N - S 分析結果が、前回、
0:41:18	ヒアリング資料では、
0:41:21	お示しできておりませんでしたので、そのデジタル値を今回データとして追加しております。
0:41:27	最後、78 ページから、
0:41:30	の内容、ボーリング関連資料ということで、
0:41:38	今回の古谷泥層のデータを変更点も含めご説明しておりますので、
0:41:43	古谷泥層に関連する一連のボーリングデータは債権も含めまして、すべて、今回、データ集としてご提出させていただきました。
0:41:55	データ集変更点は以上です。
0:41:59	すいません終盤ちょっとハシてしまいましたけれども前回のヒアリングからの変更点の説明としては以上となります。
0:42:12	はい。ご説明ありがとうございました。
0:42:17	えっと、
0:42:18	では、確認する点があれば、ひとまずニシキさんからお願いします。
0:42:26	はい。規制庁のニシキです。
0:42:29	ですね前回のヒアリングの時に、私の方が冒頭の方でコメントさせていただいたところに、
0:42:38	対して、対応いただいてるところがあるかなと思ってやっています。そこでちょっと 1 点、その観点でいきますとまず 11 ページのところなんですけれども、
0:42:53	このところで
0:42:55	どういったふうに対比、前回から今回変わってきましたよってということと、何つうっけ、それぞれの分析、
0:43:05	どういったものを根拠として比較しているんですよ対比してるんですよっていうことを、整理いただけてるのかなと思うんですけれども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:15	もう1点ちょっと御同じく確認させていただいたところが、それぞれの分析項目自体は、谷井がわかることを期待しているのからしているのかってことについてが、
0:43:29	あまりよくわからないなっていうところもあわせてちょっと前回のヒアリングのところで、その辺ちょっと追記できないんですかっていうことをちょっとお聞きしてたんですけども、何かその辺どっか整理されていますかね。例えばその火山灰分析、
0:43:45	ていうのをやった場合、時にそれは何を期待して火山灰分析をしたのかってところがいまいよくわかんないんじゃないのかなっていうことで、そこもちょっと、
0:43:55	含めてちょっと前回確認させていただいたんですけどもその辺どっか整理されているところがあるのであればちょっと教えていただきたいんですけども。
0:44:08	はい中部電力の森本です。
0:44:10	その旨は今回、8ページ
0:44:15	の方に要は何、何をねらって、
0:44:19	今回追加の検討をやった、何をきっかけにして、何をねらって追加の検討をやったんだというのを、8ページに、
0:44:28	記載、
0:44:30	下、しております。
0:44:32	具体的に先ほど申し上げた通り青字の部分ですけども、
0:44:38	古谷泥層の下部層準おぼれ谷毎月そうに語る当たる可能性があって、
0:44:45	あ、すいません。
0:44:47	ちょっとその前にですね、7ページ。
0:44:51	この内容になりますが、前回の説明、前回我々が説明しておりました内容についてどこに課題があったのかという、
0:45:01	ところなんですけれども、この表で示しております。
0:45:04	赤字の部分。
0:45:06	古谷泥層と違いが認められるというところに、
0:45:10	課題があると。そこの説違いの説明が、整合的にできていないというところに、課題がある、あるという認識でおりました。で、その点を踏まえまして8ページ。
0:45:24	その内容、
0:45:25	まず違いがある点として、層相だったんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:29	その層相の違いも細かく見ていると、小椋儀間遺跡そうとして共通点が認められる可能性があるかもしれないと。
0:45:38	花粉微化石が出にくい要因についても、
0:45:41	貧化石体に該当する可能性があるのもそもそも、今まで風化と説明しておりましたけれどもそもそも少ない可能性があるということで追加の
0:45:51	花粉微化石を、
0:45:53	やったと。
0:45:54	ということで、主にはですね、課題として前回認識していたのが、前回、7ページで示しております赤字で書いている部分でございましてそこを上に行こうと。
0:46:04	したのが今回の調査でございます。
0:46:08	ちょっと西さんご指摘いただいたようにそのあたりがですね、明文化できていなくてちょっと流れで今、説明、
0:46:16	してしちゃってる場所もございましてその辺りを少し工夫させていただきたいと思います。
0:46:25	規制庁ニシキです。の状況については確認できました。そこでちょっと今、
0:46:32	何だっけ、それぞれがおぼれ谷井関層になるかも、比木2のところを基準としてっていうご説明全体の流れとしてはそういう説明だと思うんですけども、
0:46:45	その中でちょっと確認したいのが、結局この全体見たときに、
0:46:50	何だっけ、劇場、北條の家戦争からおぼれらに、井関層っていう、
0:46:58	堆積層解析の方から判断したのは、比木2地点だけであって、BF1とかBF4については、田井層相からさ、そういったボルダーに埋積層であるっていうことを、
0:47:11	認定解釈してるようなことを、が書かれてないように思うんですけども、それは基本的にはその
0:47:18	説明上は花粉が、
0:47:21	花粉体の何といいますか繋がりで、比木2からBF1に引っ張ってくれてっていうようなところで、
0:47:30	なので、実BF1も、
0:47:33	小堀タニ埋積そうですっていう説明をされてるっていうふうに資料から読めたんですけどそういったことにまとめられてるという理解でよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:43	赤井中部電力の森本です。西さんのおっしゃる通りでございまして、まずしっかり古谷泥層が 20 メートルほど、
0:47:56	それから下まで確認できている比木 2 地点でしっかり堆積層を見てやって、そこから花粉なり、微化石なり、CAMS なりで対比を行っていて、
0:48:07	行っているというものでございます。
0:48:14	規制庁ニシキです。わかりました。ちょっとまず比木 2 地点をきっちりやってるので、そこから何か引っ張れる何か日を根拠にとりあえず、後ですれ結んでいきますということとされてるということではない。
0:48:30	確認できました。
0:48:35	続いて私ニシキの方からですけども、次は 40 ページ。
0:48:41	この辺りお願いしたいんですけども。
0:48:49	はい。40 ページの辺りのところで、今回
0:48:54	なんですけれど、
0:48:56	笠名面とか、御前崎についていうので、客観性の確保のために、文献等で、文献で示されているものを、基本書いていて、
0:49:07	中部電力の方が、笠名面相当とか、御前崎面相当とか敷地周辺の方で判断されたものについては、
0:49:19	今回、
0:49:21	こういう
0:49:22	地形層序解析のところからはひとまず取り除かれてはいると思うんですけども、それで中部電力の方で、
0:49:32	そう、それぞれの相当層と判断しているものっていうものは、きちんと待機できているという理解で問題ないんですよ。
0:49:48	中部電力の森本です今、ニシキさんの後、仰っ。
0:49:53	ているのはもともと相当層相と評価していた。
0:49:59	ものは、
0:50:01	今回の地形層序解析の、
0:50:06	その中でもしっかりす。
0:50:08	相当層と判定できるのかと、そういうことでよろしいでしょうか。
0:50:12	規制庁ニシキということで、要は
0:50:15	自分たちのところの調査で自信持ってもうこれ笠名面ですとか、御前崎面ですっていうふうに決めて、決めた上でやればいいのかというところもあったんですけども、またその日、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:28	そこの自分たちの調査のところは、ひとまず引いて文献の方を持ってこられているので、その辺ちょっと、
0:50:37	変な言い方をすると笠名面とか、お前が決めるっていう根拠が乏しくなったのかとかそういうことをちょっと、
0:50:45	勝手にちょっと思ったりするところを持ちちゃったりするところもあるのでちょっと確認させていただいたところですよ。
0:50:52	はい森元です。今までの評価を取り止めたとか相当層を、相当面を見直したとか、そういう話ではございませんで、
0:51:02	より信頼性のおける、
0:51:06	面を使って、今回ご説明させていただいたと、いうことで、従来からの評価については、特に見直したというわけでは、
0:51:19	ございません。
0:51:20	それを我々が従来説明していた、相当層を使わなくても、
0:51:28	より確からしい、よりしっかり、
0:51:33	みんなが、
0:51:35	越田大江だと認める地形面からも、説明ができていうものでございます。
0:51:47	規制庁認識ですか。わかりましたお考えがわかりました。そういった時に、唯一あれですかBF2地点だけは、
0:51:57	既往の文献は信じられずっていうか、そこを古谷泥層と書かれたものは、笠名面笠名礫層だってことはそこだけは、
0:52:07	御社主張されると、その既往の、
0:52:10	ところからは変更されているとそういうことでよろしいですか。
0:52:18	はい補足説明資料の29ページの内容になりますがBF2地点、
0:52:24	と我々呼んでいるところについては、既存の文献、
0:52:32	あとご説明、書かれていることと、評価としては違っていると。
0:52:38	いうものでございます。ただ知見まんぞくーにおきましては、このBF2地点と言っているとところ我々面として読めると。
0:52:46	いうことで
0:52:48	前回の資料でもお示ししておりますけれども、
0:52:51	この点について常盤の文献で、地形面の判読が特にされているわけではなくてですね、
0:52:59	そういった面の判読結果も含めて我々はこちらを笠名礫層相当だと。
0:53:05	評価して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:07	おります。
0:53:09	ただ
0:53:12	冒頭ご説明させていただきましたけれども、資料の
0:53:22	11 ペイジーの内容になりますけれども、
0:53:32	もともとはですね前回の
0:53:35	3月の会合では、このB、
0:53:39	P F Pの泥層の堆積環境、
0:53:42	我々、主たる根拠として、
0:53:45	その時の
0:53:47	そのB Fの手前の地形だとか、そういったところから、
0:53:51	泥層が古谷泥層相当だと。
0:53:54	生成環境、それから海水流入環境だと。
0:53:59	いう説明から、年代の特定という論理。
0:54:04	の展開を、
0:54:05	しておりましたけれども、
0:54:07	今回は、そこの対比環境の話ではなくて、
0:54:13	泥層と古谷泥層の比較から、
0:54:17	比較を比較結果を話している根拠として、
0:54:22	泥層の堆積年代を評価しているということで、ちょっと
0:54:28	周りの地形面、
0:54:30	B F 2 地点の
0:54:34	地層の時代をいつに置くかっていうところの、
0:54:37	位置付けも従来のロジックから変わっていると。
0:54:40	いうものでございます。
0:54:49	はい規制庁んニシキです。
0:54:52	と、
0:54:53	ひとまずはい。
0:54:56	確認はできました。
0:55:01	じゃ次のところちょっと、
0:55:03	伺いたいんですけども、ちょっとまた
0:55:06	何でしょう。4141 ページ。
0:55:10	のところで、今回
0:55:13	S T 値とかあの辺りを合わせて、本編の方にも 2 載せていただいたところなんですけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:55:23	B F 一位のところ、牧ノ原礫層相当というのも含めて書いていただいているので実際あるという、
0:55:32	実情があるってことだと思うんですけども、この牧ノ原礫層、
0:55:38	牧ノ原礫層相当というものは、牧ノ原面は構成している礫層ではないという、
0:55:44	ことを御社は考えているということによろしいですか。
0:55:52	森本です。すみませんもう一度ご質問よろしいですか。
0:55:58	えっとですね、41 ページのところ、
0:56:01	例えば率い時点と書いているところだと、牧ノ原礫層がここにありますよというところをもって牧ノ原面っていうことを基本、
0:56:12	礫層が、
0:56:14	今日松原砂層があってその上に△堆積物の牧原礫層ができてきてそこが、いわゆる目黒付構成式てると思うんですけども、P L 1 地点の牧ノ原力層相等っていうものについてはこれは、
0:56:29	比木 2 地点の牧ノ原礫層とは、何だ、意味が違うものなのか。
0:56:35	それとも、同じく、
0:56:37	そういったデータで△風品質的というときに目を作ったものというふうにお考えなのかってことをちょっとお聞きしたかったんですけども。
0:56:46	はい森本です。すみませんありがとうございます。B F 1 地点に関しては、
0:56:52	面としては読めていないというのが答えでして、
0:56:57	ただ歴史の堆積物としては確認できていて、それを我々は牧ノ原礫層相当だと評価をしているというものでございます。
0:57:08	非常に
0:57:10	斜面に限られた範囲にしか、この礫層が分布しておりませんので、面としては読めてないというものでございます。この礫層の評価につきましては補足説明資料、
0:57:29	12 ページだとか 13 ページ。
0:57:33	2、こういった礫層を、
0:57:37	牧ノ原礫層と京松原添相当と評価しているという旨を記載しております。
0:57:43	以上です。
0:57:49	規制庁ニシキです。ありがとうございます。それでちょっともう 1 点そこに関して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:54	確認したかったことが、
0:57:57	この牧ノ原力層相とBF1のところは、
0:58:02	これ、この中には、何か他のページで牧ノ原礫層自体は、ポイントとして、河成性の歴とか、ああいったものが入ってきませんよってことが書かれてるかと思うんですけども。
0:58:15	ここについてはそれは確認されているんですけどちょっと資料見た限りちょっとどこに。
0:58:20	礫州円礫の形状についてのことが書かれてるんですけど、礫州ってどこまで、そういったものが入ってないところまで確認されているのかっていうのを少し、確認して、してしたいんですけども。
0:58:33	はいあとSPF1線の牧ノ原ら一礫層と佐藤さんにつきましては、歴史の確認までは行っておりませんで、
0:58:44	現状計上のみ、
0:58:46	で、
0:58:47	ございます。
0:58:49	牧ノ原礫層に関しては、氷見地点の牧ノ原礫層、
0:58:57	礫州の確認をしております、そちらに、
0:59:02	この変成岩火成岩が入っていないということに、
0:59:05	確認しておりますその結果を本編資料の
0:59:17	105 ページに記載しております。
0:59:29	はい。105 ページのところは、基本比木2、
0:59:33	起点のってことですね。はい。
0:59:36	にしました。
0:59:41	続いて、認識からですけれども、ちょっと43ページのまとめのところの文章がちょっといまいよく理解できなくて、ちょっと、
0:59:51	言いたいことをちょっと確認しさせていただきたいんですけども、一つの、こっこのところで、
1:00:00	読み上げるとBF4地点、
1:00:02	付近の標高約50メートルは、文献に示される古谷泥層と相良層の不整合面と概ね同標高である。また、当該箇所は笠名面見てい御前崎面より、
1:00:15	行為であるっていう、書かれてるんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:17	これって、その不整合面と、笠名面と御前崎面の関係をここで述べられてるんですがそれどういった意図でここまとめられているのかってポツで、ちょっと確認させていただきたいんですけども。
1:00:34	はい。森本です。説明しているのは 41 ページの内容で、
1:00:42	ございまして、
1:00:50	B F 4 地点の不整合面の話を特にしたいわけではなくてですね。
1:00:56	B F 4 地点、泥層の分布、している標高が 50 メートルに当たりますので、
1:01:03	その 50 メートルは、どういった、
1:01:09	地層の分別に当たるかという目で見てやると。
1:01:12	まず、
1:01:15	この断面図で言いますと、堀野新田付近とされております。
1:01:19	古谷泥層と、相良層の不整合面、
1:01:24	と同じ標高だと、いうことと、
1:01:31	コメントの位置関係地形面との位置関係を見てやりますと、
1:01:35	笠名面より低位で、御前崎面より高位にあると。
1:01:39	ここの蓋 I I を述べているというものでございます。
1:01:45	回答になってますでしょうか。
1:01:52	規制庁ニシキです。
1:01:54	書いてる中身をそのままお答えいただいたような気がする。だけだった気もするんですけども、これってあれです。
1:02:05	例えばね、なんていうか
1:02:08	何か他のページとかで例えばその、もともと
1:02:11	古谷泥層、いろんなタニがありますよってことを、ミスで、がたまる前の段階で、この地域って、
1:02:22	多分違う。要は比木のところと B F ようなところが違うタニ出て説明してる時点で、いわゆる相良層の
1:02:30	不整合面といいますか要は、そこの地形を作るような面でこぼこしてはるはずなのにここがそろってるってところをもって何を言いたかったのかなってことがよくわからなかったのでもって確認させていただいたんですけども。
1:02:44	書かれてる内容以上のことは特にないというふうに理解したんですけどもそれでよろしい。よろしいですか。
1:02:57	笹木です。少し補足してもよろしいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:01	お願いします。はい。
1:03:05	今、40、
1:03:11	3ページのまとめっていうのは、今
1:03:14	ご説明があった41ページの内容を箇条書きにしたというものなんですけれども、
1:03:19	これまでの文献調査等、今回行いましたこの地形層序解析、この二つをもって、
1:03:29	この地域に、
1:03:33	とりあえず広く分布する地層としては、こういったものがあると、地形面はこういったところに分布しているので、その地形面と対応するような地層もこの地域にあるだろうと。
1:03:45	ということがわかって、
1:03:48	それを
1:03:50	B F 4 地点の
1:03:53	地層、今ここで鍵括弧泥層と呼んでますが、この底層っていうのが、
1:04:01	この間見つかっている4紀層のうちの、こういったものに対応しそうかっていう目星をつけたという意味でまとめた。
1:04:10	いう文章立ってます。なのでまずは、
1:04:13	この後、このあたりで知られている池谷堀江1982では、標高50メートルくらいに、
1:04:21	地形とは関係なく存在するまず古谷泥層というものは、
1:04:26	あって、その
1:04:27	新第3系って書きましたが、ファーマー。
1:04:31	相良層ですね、相良層と古谷泥層の不整合面、
1:04:35	がこのあたり150メートルくらいにあってその直上には古谷泥層というものが載っている。
1:04:40	で、
1:04:41	あとは地形でちゃんと見てやると、
1:04:46	上位から牧ノ原面笠名面御前崎面とあって、
1:04:51	こういった
1:04:54	地形判読として既知きっちり読める。
1:04:57	海成段丘。
1:04:59	を構成する地層だともしこれがすると、
1:05:02	なると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:03	御前崎面より高位にあるので少なくとも、
1:05:08	御前崎面の堆積物ではないんで、笠名面、
1:05:12	より下位にあるので牧ノ原面の可能性だったり、笠名面の
1:05:18	堆積物の可能性は残る。
1:05:20	とりあえずここまでではそ。
1:05:22	ここまでの解析結果ではそこまでいえるっていうことを箇条書きにしている状況です。
1:05:29	以上です。
1:05:31	規制庁の一色です。要はあれですね。多分、主従が逆っていう鎌田以下のところの方が、主に主張されたい。
1:05:41	ことなんだなということで、理解いたしました。
1:05:47	続いて、ちょっと次、ちょっと策と進んでいきたいんですけども、60ページのところで、
1:05:56	61ページかな、61ページのところの花粉今回花粉層序の細分化と、
1:06:03	されてきたんですけども、これはあの前の時には、いわゆるB-1Hにも00対1件作ってたところを、
1:06:12	1A、
1:06:15	という形に、
1:06:17	一井AとB、A-1と2かに分けられてその1、
1:06:24	1次A-1ってところが、もともと0だったんすかそこって、
1:06:29	何かこう、
1:06:31	数字の変更したって何かおっきな理由とか、
1:06:35	あるんですか。
1:06:38	森本です先ほどちょっと説明が抜けておりましたすいません
1:06:43	西さんおっしゃるようにもともと10対1としておりました一番下の絵と、今回の資料だと1、
1:06:50	Aの1体、
1:06:52	と名前を見直していますで、今回やった内容が何かといいますと、もともと左の図で示しておりました。一々たい。
1:07:02	これをよく詳細に見てやって、
1:07:06	このA、A1A体を二つに分けたと。
1:07:10	花粉のでない層準と花粉モデル層準。
1:07:14	二つに分けたというのが今回、
1:07:17	見直した内容になりますので、その辺りが読めるようにネーミングだけ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:24	a t と相対二つに分けましたというのが名前から、
1:07:28	わかりやすいように、見直したものでございまして、
1:07:31	特にそれ以上の意味はございません。
1:07:37	規制庁認識です。
1:07:40	要は前回の会合のときの 1、1 程度が 1 A のところに、
1:07:48	0 が、前のヒアリング時に 0 だったものが入ってるからってことで、1 の中で、1、
1:07:55	1 間、の中で、
1:07:58	1 A の中でさらに、
1:08:00	サポートして 1 と 2 に区分したってということですね。
1:08:05	はいその通りです。
1:08:08	わかりましたありがとうございます。
1:08:14	続いて、
1:08:29	77 ページ。
1:08:35	のところで、
1:08:39	これはさっきはちょっと確認したかった内容でさっき言っちゃいましたけど B F 1 とかの堆積層海成やってないということで、多かったので、
1:08:50	次の 84 ページをちょっとお願いしてよろしいですか。
1:08:57	84 ページのところで最後が笠名層の。
1:09:02	笠名礫層の調査のまとめというふうにされてるんですけども、それで最終的に提出堆積物から成る新田認められないという、まとめにされてるかと思うんですけども、
1:09:16	ただこれちょっと見ると、結局あれですよ調査自体、今回の調査では、
1:09:23	過去言われてたものの、笠名礫層この地域の笠名礫層の下の方は結局確認できてないんですよ。労働とかでは、
1:09:34	というまとめのように読めたんですけども、その中で、前、
1:09:38	ここにはないで、確かにそのポイントではないんですけども、この地域の笠名礫層とされる、してもいいユニットの中に確実にないということまでは言い切れてるんですか。その辺ちょっと確認したいんですけど。
1:09:54	はいリモットで末富さんおっしゃってる内容は 81 ページ、ごめんなさい。まず 80 ページ、この地域で言われてる笠名礫層がどういった、
1:10:06	ナリタちいなのかってというのが、文献の内容を示しております下部からきて颯爽株礫層チューブ礫層上部礫層と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:16	で、その上位の
1:10:19	できそうと示されております。
1:10:23	今回確認した露頭の内容が、81 ページ。
1:10:27	ちょっとこのスライドだと外観しか示しておりませんが、
1:10:32	2 ポツの部分、
1:10:36	図 6 で示されている、
1:10:40	杉山ほか市原接続においては、この時点で、
1:10:46	古谷泥層を覆う礫層、古谷泥層との整合面も確認したというふうに述べられているんですけども、そこまでは確認できていないですね。
1:10:56	大体層準としては先ほどの 80 ページで示されているチューブ礫層よりも上の部分が、
1:11:02	示されて、
1:11:03	いると。
1:11:04	確認できたというものでございます。
1:11:09	この今回確認できてない株礫層それから規定砂層につきましてはいずれも歴史、それからマトリクス勝室というのが示されておまして、
1:11:20	今回のを確認した。
1:11:27	提出堆積物は含まれないというところと、そういうような結果がえられ、
1:11:34	そこまで大きい違いはないものと考えております。
1:11:40	はい。規制庁ニシキです。状況についてははい、再度確認できました。
1:11:47	したらですね。
1:11:49	次 120。
1:11:52	2 ページ。
1:11:54	のところなんですけども、
1:11:56	泥層
1:11:59	敷地の陸成泥層と御社言っているものとの違いについてのところで、まず泥層の特徴ということで、122 ページの方で、
1:12:10	まとめられ、
1:12:12	何がまずい書かれてるんですけども、この泥層については、例えばこの C S 分析の結果と、ここに書かれてる解釈自体の話は、合ってるんだというふうに私も思うんですけども。
1:12:26	一方この定款湿地とか、後背湿地の環境で本当に C M S 分析をしてこういった、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:35	データが出られるんですよってのは何か、
1:12:38	文献とかであったりするんですか本当に何だっけ、高等植物。
1:12:43	どこがオオイだとか少ないとかそういったところの変化とか、そういう状況で何かで確認されてたりするんですか。
1:12:52	はい森元です。定款しっちいを対象に強いN-S分析をした。
1:13:00	ちょうど文献というのは確認できておりませんが121ページにですね、
1:13:08	先ほどご説明しましたけれども監視っちいの泥層ってどういったものかというな事例を一つ示させていただいております。
1:13:17	浜松の浜堤の裏の
1:13:22	監視っちい。
1:13:23	ですけれども、
1:13:25	データ質のシルト粘土層ということで、
1:13:29	これがすなわち腐食の入った泥層。
1:13:34	だと考えられますので、こういったところでやれば、
1:13:38	CNPではそれなりに大きい値が出ると考えられますけれども、実際にCN-Sの値でどうこうという文献までは確認できてないですが、性状として、
1:13:51	データ質という人については幾つかこの事例も含めて確認をしております。
1:14:01	はい。2規制庁ニシキですけども、Dた質というのを確認してるってのはCAM5じゃなくって、層相を確認してるという意味でよろしいですか。
1:14:14	はいデータの質だという層相監査IIを確認し、操作観察基準を確認するというものです。
1:14:22	規制庁の伊敷です。ていうことは基本的には層相が違うから、違いますよってことをおっしゃっているというふうに理解いたしました。
1:14:32	で、土佐最後ぐらいになるんですけど私の方からは123ページのところなんですけども、
1:14:39	これもともと40ページの前の資料でいくと40ページぐらいのところ で、前の方に示されていたんですけどもう一度その、この後に移していきたいとって、ご説明いただけますか。
1:14:56	はい森本です。後ろに移したところにつきましては、
1:15:05	資料の
1:15:12	41ページ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:15:19	今回は
1:15:21	敷地の、
1:15:24	敷地ごく近傍の地形、
1:15:28	層状解析、これを使って、
1:15:30	先ほど沢木さんの方からも説明がありました、
1:15:36	この
1:15:37	B F 4 地点の泥層に該当するとすればどの時代のものかというのを実際に確認できる。
1:15:44	地形面御前崎地域の実質それから、
1:15:49	地形面を使って検討して、より確からしい、データを使って、実際に確認できるファクトを使って、検討していると。
1:15:58	いうものでございます。
1:16:00	で、先ほどご指摘いただきました 123 ページ。
1:16:04	移した検討内容というのは、
1:16:10	その補足的な説明はできるんですけども、特にこれによってですね、
1:16:16	地形、B S 発電、
1:16:20	に分布する地層がこういった時代のものかというのを、
1:16:24	絞り込みをやっているわけではないので、今回、後ろの方に移させていただいて、要はロジックに、
1:16:31	そこまで影響しないスライドになりますので、
1:16:36	後ろの方に移させていただいたというものです。今回はより確からしい、
1:16:41	御前崎地域で実際に確認できている、より確かなデータを使って、
1:16:46	B F 4 地点に分布する地層がいつの時代のものかという絞り込みをやったというのが、
1:16:52	後に合わせた理由でございます。
1:17:00	規制庁認識です。
1:17:03	はい。
1:17:04	あとはわかります。
1:17:06	ただ、
1:17:09	今回京松原砂層の方が、
1:17:15	まあまあより良い
1:17:17	これは仮に 3、こっちに移す。井戸は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:23	赤、以上、
1:17:24	考えた上で、
1:17:26	とかさなあ面笠名礫層で、
1:17:31	思ってこの線を引くっていうそういったことも、はできなかったって何か理由があるんですか前は笠名面でっていうお話でやってたところを、
1:17:41	今回今日松原に書いて確かにデータってことはおっしゃってなかったんですけども、笠名、
1:17:48	相当とか笠名笠名面からはそういった
1:17:52	確からしい線を引けないというふうに考え、
1:17:56	出るんですか。
1:17:57	それとも笠名面でも引き得るんですか。
1:18:01	笹木です。
1:18:03	この辺りの広域的な隆起なんですけれども、まず何て言いますかね
1:18:12	海水準変動曲線の、世界的に見た館からしか、確からしさとか、
1:18:21	高速料金の確からしくらしさとかですねいろいろ。
1:18:25	考えるとですね。
1:18:27	やはり、5eのときの回診のピークってというのは世界的に共通していてそこは高い。
1:18:35	今よりも大体プラス5メートルぐらいの
1:18:39	海面だっただろうというのは確からしいので、より確からしいこの郷委員の関心のピークを使った、
1:18:50	このきょ、この直線での隆起速度というものを今、
1:18:54	重要視してこれは採用して書いてますが、そういったいろいろ、
1:19:01	もろもろの誤差も配慮した上で、笠名面の高さを使っては、変えたとしても、何て言いますかね、
1:19:12	おそらく隆起速度として0コンマ1とかそのぐらいしか変わらないので、誤差の範囲或いはその
1:19:22	そういった二つ不確か。
1:19:25	不確かさの中に入ってくるものだと思います。
1:19:29	なのでそのどちらを使っても別に、
1:19:32	よかったんですが、一般的に世界的によく使われている合意のピークっていうものの重要視して、なおかつこの時点では、
1:19:43	今日松原砂層というところに、敬愛火山灰という火山灰も入ってますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:50	そういったものを、
1:19:51	総合的に考えて、
1:19:54	こちらを重要視したため、
1:19:56	こっこの合意のピークの方を使って直線を変えたということです。
1:20:05	はい。規制庁ニシキです。はい。販売については、わかりました。いわゆるあれですね汀線がわかるってこと自体がわかるので確実に、
1:20:15	何か
1:20:18	合意のところにその線を持っていけるからっていうところ。
1:20:21	が一番強い理由だということで理解いたしました。
1:20:26	とりあえず私の方からは以上なのでちょっと本庁にいる、
1:20:31	方々の方からあればお願いいたします。
1:20:46	規制庁カイダです。私の方からも少し確認ということで、
1:20:53	させていただきたいんですけども、
1:20:58	まずですね以前、
1:21:01	化石が出ないとかいう話は、
1:21:04	風化の影響であろうということで、今回貧化石という、
1:21:10	ところに説明が加わったんですけども、
1:21:15	この封緘説ってというのは、
1:21:18	結局今どう考えられてるのかっていうのは、
1:21:22	まだ残っているのか、両方なのかとか、
1:21:26	その辺りは今、資料で見ると、
1:21:29	ちょっと探し切れないんですけども、風化説をどうしたかっていうところってというのは、どっか説明はあるんで、何か確認したいんですけども。
1:21:49	はい中部電力の森元でございます。
1:21:53	風化については、もともと風化という考察をしておりましたが、その風化の影響による影響よりも、そもそもが貧化石だと。
1:22:04	いうところが、
1:22:08	影響している、要は影響度が非化石だという方が大きいという。
1:22:13	いうふうに我々考えております。
1:22:16	宗のあった李を奇数言わして、
1:22:27	規制庁のカイダです 8 ページの
1:22:30	2 ですね一番下の青いところに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:33	矢印で風化の可能性に加えて、高校というところがちょっと唯一見つかったんですけども、
1:22:43	この辺りを見ると封緘の可能性もまだあって、両方の説が有効なのか。
1:22:52	風化っていうのはもうなくなっ、今考えてないのかというところが、これ以外のところにあるかなというところの確認で、
1:23:02	もし考え方が変更になったのであればそのあたりがもうどっかで、
1:23:08	こうやって探さなくてもわかるようなところに書いてあった方が、資料上わかりやすいかなと思うんですけども。
1:23:15	はいいかがでしょうか。
1:23:17	はいモリモトですいません即答できずにすいませんでした。風化の影響につきましては先ほど説明しました通り、当然風化の影響の露頭のロケーション的にあるかなと、あると考えておりますけれどもそれよりも、
1:23:31	品化石の方が影響してるというのが、
1:23:34	今回確認できたというものでございまして、風化を特に取り止めたとかそういうものではございません。ちょっと資料として、
1:23:41	その辺りがわかりやすいように、記載については、
1:23:47	工夫させていただきます。
1:23:50	はい。規制庁の甲斐ですわかりましたそのあたりの考えが、ずっとこの前回までの説明と風化風化っていう頭で見
1:23:59	見てるところ、私らは今聞いてるんでもうわかってはきたんですけどそのあたり資料から、
1:24:06	風化がどうな扱いになったかっていうのがわかるような形で、
1:24:11	説明等をお願いします。
1:24:15	あと引き続いてですね
1:24:18	と、
1:24:21	53 ページ。
1:24:27	なんですけれども、
1:24:35	これもちょっと、
1:24:37	どう考えてるかっていうところ明確化というところなんです、
1:24:43	箱書きの一番下ですね右に示すってところから始まって、
1:24:50	この 45 っていうのは多分 46 ページのことだと思うんですけども、
1:24:58	これを見ていくと、
1:25:01	開始おぼれだ 2 枚積層に当たる可能性があると考えられるっていう、
1:25:08	ところが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:09	こぼれ何ではないかっていうところの分はこの
1:25:13	田坂志水他との比較において、
1:25:17	そうであると考察があるんですけども、
1:25:21	その 46 ページを見ると、
1:25:26	例えば、比木 2 地点っていうのは 12、A 地点というのに近いところだと思うんですが、
1:25:34	やっぱり一番下の歴史なところは、
1:25:38	れき質も浄化線っていう、
1:25:41	ふうに書いてあって、
1:25:43	上に行ったところの、何て言うんすか白抜きが多分泥層のところに入ったら、
1:25:52	おぼれ谷っていうことで書いてあると思うんですけども、
1:25:57	53 ページのところは、
1:26:00	基本、植木がいっぱいあるようなところ。
1:26:04	が主体だと思うんですけども、ここの部分で、
1:26:08	小堀谷井関層にすでに入ってるんだっていう、
1:26:12	ところが、ちょっとこの 46 ページとの対応で、
1:26:16	ちょっとわかりづらいんですけども、ここは何か、
1:26:19	ちょっと行間埋めるなり何なりしていただいた方がわかるんですけども、現時点で、
1:26:27	このよ、その対応というのをちょっとお聞かせいただきたいんですけども。
1:26:34	はいモリモトですまず 53 ページの一番下の記載でございますが、最終ページがずれておりましたことすいませんでした訂正させていただきます。
1:26:43	す。ここで述べているのはですね
1:26:47	高橋瑞穂カーの堆積層分類ということで先ほど
1:26:52	会田さんおっしゃった、甲斐からも浄化戦争があって、大堀タニ真木曾我ってというものなんですけれども、
1:27:01	まずこの
1:27:05	詳細に見てやりますと、砂岩泥岩ゴソウの上に左室シルトが乗っかっていると。
1:27:14	これが認められるので、その上を礫層が負っていると。
1:27:19	ということでこれは適数も浄化戦争であれば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:23	裁判泥岩放送を削り込んでいる、できそうになっているはずだと。
1:27:28	考えられますのでその違いをもって我々小原イマイ関層の可能性を、ヒントとしてえているというものでございます。
1:27:37	ちょっと業界を埋めるという意味で、歴史も浄化戦争ならこうなってるはずだというところをこの最後の1ポツのところに追加させていただきます特に文献等の対応。
1:27:47	関係を持ってですねこれがもう浄化戦争がどうだというところを、
1:27:51	コアからはなかなか確認ができないので、今回、こういったところをヒントにですね、露頭を確認してあった、そこで元との対応関係を見てやったというものでございます。
1:28:06	はい。はい規制庁の甲斐です。わかりましたちょっと説明等、
1:28:11	補足というか追加していただけると、
1:28:15	いいかなと思いますのでよろしくお願いします。
1:28:18	で、引き続いて、62ページなんですけれども、
1:28:23	今日
1:28:25	この116出ている⑩というのの、
1:28:30	説明がいただきまして61ページと62ページ。
1:28:38	紫で書いた、
1:28:40	丸井ん中ってというのが、
1:28:43	相良層堆積後から古谷泥層、
1:28:47	堆積前までに混入したと考えられる花粉ということで
1:28:51	示されていると。
1:28:54	ちょっとこの一番右側の⑩の書いてる場所なんですけれども、
1:29:00	これは確かに⑩の標高をそのまま
1:29:06	写すとそこに、
1:29:08	くるんですけれども、
1:29:11	一番右側の、
1:29:14	⑩は左側ですか。
1:29:16	柱状図のところ、コア写真のところにある。
1:29:20	⑩と見ると、
1:29:22	これはだから、本当の一番基底部から取ってきてる。
1:29:28	資料で、
1:29:30	添層準的に見れば、この一番右側の⑩のあるような
1:29:37	何て言いますかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:38	古谷宗の昆真ん中増やそうというか、
1:29:41	この部分の真ん中じゃなくて、一番下のところに来るような、
1:29:46	ところに来るようなイメージかと思うんですけども。
1:29:52	この辺りの相良層堆積後から古谷層堆積前までに、
1:29:57	混入したと考えられる花粉っていうこの層準が、
1:30:01	この自由の
1:30:03	今、標高んも持って書いてあるんですけども、
1:30:08	ちょっとここにあると。
1:30:09	一番左側の新実際とったところと合っていないように見えるんですけども、ちょっとそれは
1:30:16	そういう見るのは見間違いなのか、ちょっとこのあたり、
1:30:21	ちょっともう1回、括弧、説明をしていただきたいんですが。
1:30:26	よろしいでしょうか。
1:30:29	はい、笹木です。
1:30:30	基本的にはご指摘の通りで、層状で考えるとこの緑で書いてある62ページの、
1:30:38	716⑩っていう、この花粉のデータは層準で言うとおっしゃる通り今、赤で書かれてる花3506って書いてあるよりも下。
1:30:48	になります。今たまたまその客観的なデータというのが、標高しかなかったものですから、
1:30:56	ここでは仮にここに置いたということですので
1:31:01	いずれにせよこのH1N1隊が品加瀬北井というところからは、このデータは外しますので、
1:31:08	そういったこともあってちょっとここに置きっ放しになっているというのが、現状で層状でいうと、解釈も含めた層状を考えると、
1:31:18	一番下に入れるべきものかなというふうには思います。
1:31:24	これは54ページお願いします。
1:31:33	前回ヒアリングでも、ご指摘のあったこの54ページ、なんか、54ページでこの古谷泥層と相良層はどっから、
1:31:42	相良層でどっから古谷泥層で考えてるんだっていうことの、その回答にも、
1:31:48	繋がるんですけども、
1:31:51	基本的にはこの
1:31:52	今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:56	今対象となってるの此花。
1:31:59	54 ページでは 116 って書いて緑色の両矢印で書かれてるはい。
1:32:04	で、これは分析してみると花粉が出るので、先ほど説明があったように、
1:32:10	相良層、
1:32:12	ではない、相良層ですと僕花粉はほとんど入っていないっちゃう状況ですの、おそらく堆積物であろうと。
1:32:21	こっから先はちょっと解釈が入るので、その資料にはちょっと書きにくいんですが、
1:32:29	多分、その花粉が出てる内容を見ると、
1:32:32	62 ページも、もう 1 回戻っていただけるとわかりやすいんですが、
1:32:37	この
1:32:38	716⑩というのはもう溝靴が続投日族。
1:32:43	D 松が入るっていう、
1:32:45	この東海地方では、表記に、
1:32:50	表記も、
1:32:52	あれですね表記というよりは、とっても寒い表記とっても寒い時期の表記に、
1:32:59	よく出てくる花粉のダイアグラム。
1:33:01	でして、
1:33:03	0、
1:33:05	ファンの木が全くいないということや、その 2 例、
1:33:08	ケヤキがない、サルスベリもないというところで、
1:33:11	そういったことからこの花粉のデータっていうのはその表記のすごく寒い時期、
1:33:19	のデータになってます。
1:33:21	要するに、すいませんもう 1 回行ったり来たりで 54 ページ戻っていただきたいんですが、
1:33:27	その花粉の今のデータも含めた解釈をすると。
1:33:31	この
1:33:32	今、
1:33:33	コア観察からは確実に相良層っていうのは今、
1:33:37	羽田 116 って書いたところよりも下位の層準なんですけど、この上にある。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:33:42	砂岩泥岩ゴソウっていうのは、
1:33:48	コア観察の段階では、甲斐の相良層と同じぐらい、
1:33:54	硬かったり、
1:33:55	したので、今は古谷泥層には入ってないんですがもしかしたらこれは、
1:34:01	先ほども説明あったように、1個の利益かもしれない。
1:34:05	ブロックかもしれない可能性があって、
1:34:08	或いはそれか、その此花 116 っていうところの上にある。
1:34:15	砂岩泥岩ゴソウまでが相良層で少し穴が開いたようなところ、へこんだようなところに、この堆積物が入り込んだ状況か。
1:34:24	そういった二つと二通り考えられる。
1:34:28	二通り考えられますんで今それコアだけではどちらとも言えないので、今どちらにも入れてないですが、
1:34:34	その
1:34:36	文字上をれきだと考えれば、
1:34:40	堆積物側で、
1:34:43	上野阿藤。
1:34:46	穴が開いたようなところにこの堆積物が入り込んでそれが削り残されて残ってるって考えれば相良層側にこの
1:34:53	当該深度はなって、
1:34:55	なります。
1:34:57	で、
1:34:59	今みたいなことを総合的に考えると、今のその、
1:35:04	花 116⑩っていうのは、古谷泥層がたまるよりも前の、
1:35:09	氷期例えばM I S 6 とか、
1:35:12	そういった時期に、相良層の中に入り込んだ、堆積物なんなんじゃないかなっていう解釈ができます。
1:35:21	で、
1:35:22	そういったことも考えると先ほどご指摘あったように、この 62 ページで、この花 116⑩って書いてあるこの花粉なダイアグラムの位置というのは、
1:35:33	その今の解釈を正とすると、おっしゃるように、
1:35:38	一番下に層序としては一番、1回、一番古いものとなりますので、一番下に、を置くべきだと思います。ただいまは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:48	そういった会社食うを示す他のデータがないもんですから、標高で単純に合わせてここに置いてあるという状況になってます。以上です。
1:35:59	はい。はい規制庁の甲斐ですがわかりました情報もないので標高で合わせてやると。
1:36:05	いうことでその辺は
1:36:07	誤解を招かないように
1:36:10	どっかに書いておいていただきたい。
1:36:14	特にこっちの今 62 ページは、そういうことで
1:36:20	比較でわかりますけれども 61 ページの図をぱっと見ると、
1:36:26	最から田井力のちょうど真ん中ぐらいからこういったもんが入ってるっていうふうにも見えてしまうので、そっちも含めて、
1:36:36	今これは便宜上ここに書いてあるのであればそういったような、ちょっと理由を書いておいていただきたいので、よろしくお願いします。
1:36:48	森本です小関憲章といたしまして、62 ページに関しては、標高ごとに整理して記載していますという旨、箱書きに記載しております。
1:36:59	こちらご指摘いただいた 61 ページで誤解を招くのでという点はおっしゃる通りですので、そのあたりこの全体のダイアグラムでも読み取れるように、
1:37:11	補足させていただきます。以上です。
1:37:15	はい、わかりました。よろしくお願いします。
1:37:17	ちょっと引き続いてですね
1:37:26	あと 74 ページをお願いします。
1:37:30	これを踏まえ、表現の話かもしれませんが、
1:37:35	小さいポツの三つ目で、珪藻化石の産出がの違っているところが、衛藤局長的な堆積場の環境変化。
1:37:46	んが影響しているものと考えられると。
1:37:49	いうところで、書いてあります。
1:37:56	で、次のページを見てみますと、
1:38:01	ちょっとその、
1:38:03	局所的な堆積んの、へ崩れとか、
1:38:07	植生環境の変化が影響してるっていうのが、その次のページの、
1:38:13	どこでせん、説明してあるのかっていうのが、
1:38:19	うん。
1:38:21	また同じことが書いてあるような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:24	にも見えますし、
1:38:27	あと、
1:38:28	ここでは考えられるって書いてあるのが、
1:38:33	最後のまとめのページに行くと、確認したというようなふうに書いてあるんですが、
1:38:41	132 ページですか、132 ページの②のところでは、
1:38:48	確認したってというのは、
1:38:50	ことで、
1:38:51	書いてあるんですけども、
1:38:54	間確認し、したというのは、崩れであるとか、
1:39:02	植生の変化であることも、が確認されて、さらに、
1:39:07	珪藻の増えるって原因が、それによるものであるということが、
1:39:13	確認されているということ。
1:39:15	んなのか、ちょっとその辺りのちょっとお考えを確認させてください。
1:39:28	はい。森本でございます。
1:39:31	まず 75 ページの内容 74 ページで記載している内容と、かかわらないんじゃないかというご指摘。
1:39:40	ですけども 44 ページで書いている内容を少し詳しくこういうところから、
1:39:48	補助的な堆積堆積場の環境変化が影響しているんだという、根拠とともに示したと。
1:39:55	いうものでございます。根拠というのは、違う。
1:40:00	同じ B F 1 地点という狭いエリア内で確認した 2 本のボーリングを比べてやっても、
1:40:06	同じ標高の堆積物であっても、珪藻の産出状況が違うということと、
1:40:15	その珪藻の出方と、
1:40:19	ケースをどういった珪藻が出るのかということと、層相を見比べてやると。
1:40:24	崩れであったり、植生の入り方によって影響を受けているということで、非常にローカルな環境変化が影響してるんだということをごちらで考察し、詳しく考察したものでございます。
1:40:36	74 ページの違いとしてはそういった点でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:40	それから後段のまとめで確認したという内容と、影響してると考えられるとしている 75 ページの内容で、語尾が違うという点につきましては、
1:40:50	確認してる内容としてはこの 75 ページ。
1:40:54	以上のものはございませんのでその辺りは少し記載を修正して、統一的な
1:41:04	記載の整合を図りたいと思います。
1:41:07	以上です。
1:41:09	はい規制庁のカイダです。わかりましたじゃその辺りは記載は統一しておいていただけ。
1:41:17	でも
1:41:19	よろしいかなと思いますのでよろしくお願いします。
1:41:23	それとあと、70 次のページですか、77 ページの一番下、箱書きの一番下の箱書きなんですけれども、
1:41:36	月 2 と、BF1 の一番下のところは、
1:41:42	いずれも開始の影響を受けていると考えられるという、
1:41:47	ところが書いてありまして、
1:41:51	その根拠は、
1:41:52	花粉層状、
1:41:58	堆積層とか、花粉層状の対比結果というところが書いてあります。
1:42:06	花粉層状から開始の影響が出てるっていうのは、もっと上の方のんでんだったという、温暖な時期っていうのはもっと上の方からっていうふうに書いてあったような、
1:42:22	かと思えますし、
1:42:24	堆積層は、
1:42:27	ていうのが、どういったところでっていうところも、
1:42:30	もう少しちょっと具体的に書いていただいた方が、
1:42:34	わかりやすいと思えますし、あと、
1:42:38	以前、
1:42:39	お話のあった、
1:42:42	放散虫とか、
1:42:45	鵜沢黒石、そのあたりは、あれももともと海の影響を受けたっていうような話で出てたかと思うんですけれども、
1:42:54	そのあたりの情報っていうのが後ろに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:58	100 何ページから出てくるんですけども、その扱いってというのはここ とどう関係があるのかってというのは、
1:43:05	ちょっと現時点で、お考えを、がどうなっているのかってというのは、
1:43:11	教えていただきたいですし、もし、それも使ってるのであればそういった ところも根拠にしてるっていうのを書いた方がわかりやすいと思いますが、 現状どうなんでしょうか。
1:43:27	はい、森元です。
1:43:29	あと、ご指摘の 77 ペイジーですけども、
1:43:35	C S C 型の先生方が出ているということと、堆積層との対応関係はもう 少し具体的に書かせていただきます。
1:43:47	申し上げたかったこととしては、層相だけで見てやっても明らかに回診 の影響は海水が上がってくるかという中でたまったと。
1:43:57	いう、
1:43:59	結果は、
1:44:02	層相しておりますけれどもそういったものとの対応関係を考えると、
1:44:10	C - S G では、
1:44:12	淡水性という値は出ているけれども、その下、海の影響を受けていると いうのを否定するものではないというのが、申し上げたかったことでご ざいます。
1:44:21	花粉層状等の対応関係については冒頭ニシキさんからのご指摘もご質問 をいただいておりますが、
1:44:27	特に B F 1 地点堆積層、
1:44:30	について詳しく検討しているわけではなくて、
1:44:33	花粉との対応関係から、層状を組んでいると。
1:44:37	対比をしているということで、そこと、
1:44:40	これは儀間伊勢木曾、木野堀場イマイ関層との対比関係をもって、
1:44:46	海の影響を受けているということをごちらでも確認するというものでご ざいます。そのあたりは少し、もう少し具体的に根拠を書かせていただ きます。
1:44:57	それから、
1:44:59	放散虫だとかあとざくろ石井との関係についてですけども、まず一旦 77 ページで、申し上げたかったのはその辺りのデータも、
1:45:08	使わなくても、
1:45:11	まず堆積層なり、花粉等の創造結果、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:15	表すれば、
1:45:18	海成の影響を受けた会社の影響を受けた地層であるというのは間違いなくいえるということをも 77 で一旦、それらの結果を出す前に申し上げたと。
1:45:28	いうものでございます。
1:45:30	全体の関係でございますけれども、冒頭ご説明した、
1:45:37	11 ページのスライド。
1:45:42	を使って、
1:45:47	御説明としますが、
1:45:50	もともと
1:45:51	確認できていた放散虫、それから、
1:45:54	変成岩火成岩マンガン成分イトウもざくろ石。
1:46:00	これは
1:46:01	使って d o m i n o 影響を受けてるところを特に取り止めたわけではない。
1:46:06	なくてですね。
1:46:07	それは海の影響を受けたから入ったものだと解釈をしております。
1:46:12	今回 C N - S 分析淡水生の値を示すことを確認しておりますが、こちらについては、
1:46:18	海の影響を受けていることを否定するものではない値として、営業の購入量が現在少ないものだという解釈をしておりますので、
1:46:28	少しその辺りの関係、
1:46:30	見えるように、示させていただきたいと思います。
1:46:34	ただいずれにしてもですね前回は、ここで、
1:46:38	回診の海の影響を受けているというところをもってですね、
1:46:42	B F 4 地点の年代の特定を行っていたわけですがけれども、今回は、
1:46:48	そこを、
1:46:49	に力点を置いて、評価を説明しているわけではなくて、
1:46:54	この表でも示しておりますように比木 2 地点 B F 1 地点との類似点をもって、比較結果をもって、
1:47:00	古谷泥層との体系化を説明しているというものでございますので、
1:47:06	そのあたり位置付けが前回から変わっているというものでございます。
1:47:14	はい規制庁の甲斐ですじゃ、11 ページの表に矛盾しない。
1:47:19	ことを確認したデータであるというところで先ほどの歴とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:25	ざくろ石っていうのが入ってるっていうのは、確認できましたのでここに、
1:47:30	説明があるっていうのは確認しました。
1:47:33	私の方からは以上です。
1:47:48	規制庁。
1:47:59	規制庁谷です。
1:48:02	私の方の確認も、何か先ほどから話があることと、
1:48:08	ちょっとダブってるところが多いんですけども、
1:48:11	これ、11 ページの、
1:48:16	右下の泥層の堆積環境のことを説明するときに、何か
1:48:22	これまでの説明をより細かく、
1:48:26	考えることができたみたいなことを説明してたんですけど、
1:48:32	これって、今回説明で、
1:48:35	何でしたっけ、制水環境とか、
1:48:39	変え海成っていう話は何か先ほど何かぼやっと説明を聞きましたけど、 静水環境だとかそういう説明自体は変わってないんです。
1:48:49	ですかBF4の方堆積物から見て、
1:48:52	その辺ちょっと教えてください。
1:49:00	はい。森元です。従来海の影響、海水流入環境下だと、静水環境だと言っていた。
1:49:09	ことを特に
1:49:11	今回見直しているわけではございませんで、そういった環境が作り出されるものが覚えらに一方で日本
1:49:20	小堀の環境下だと。
1:49:23	いうことを説明させていただいております。
1:49:30	はい。
1:49:32	説明は特に変えてるようなもんじゃないってことですね。
1:49:36	状況はわかりました。あとは、何かさっき
1:49:42	開始の影響を受けているっていう言葉が何か海の影響を受けているっていうような、
1:49:47	ことを言ってたんですけどこれって、つまり、
1:49:50	言いたいことは海の影響を受けているっていうことから、
1:49:55	海の近くで堆積したとかそういうことを言いたいんですか。
1:50:00	ちょっとね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:02	回診の影響を受けているっていう言葉をこう聞くと、何かそりゃあ、
1:50:07	どんな堆積物だってある程度受けてるんじゃないのかなとか、そんな気がするんで、言いたいことは、海の影響を受けているっていう。
1:50:17	ことですよねそれは、海の近くに出たまったっていうことを言いたいのかちょっと確認させてください。
1:50:29	はい。森本です。特にロケーションとして海の近くだと、そういうわけではなくてですね、
1:50:35	もともとと言っていた海水流入環境下、
1:50:38	ていうところと、同じ意味で使っております。それが現象として改新というところで、
1:50:47	説明させワードに置き換えて今回記載させていただきます。環境としては、11ページの右下にございますけれども、
1:50:55	赤石に伴って
1:50:57	沈んだところで、海の下に沈んだところでたまった地層ということを申し上げたかった。
1:51:04	というものでございます。
1:51:06	規制庁谷です私なんか勘違いしてたかもしれないですねCAMSで、これは海水じゃないっていうような話に聞こえてたので、
1:51:15	そう、さっきの質問したんですけどこれ海水流入環境下っていう話は変えてないってことですか。
1:51:25	はいまたそこは変わっておりませんで
1:51:29	ような値として今、確認できるのが少ないだけで、
1:51:34	海へ海成が入ってきてる環境というのは変わらのもともとから変わってないというものでございます。
1:51:41	規制庁タニイソダそれってどっかん読んだらわかるようなところってあるんですかね私が確認を。
1:51:48	ちゃんとできてないのかなって、そういう聞いて思ったんですけどどこか書いてますか。
1:51:56	1個のモリモトですえーっとですね資料で言いますと77ページ先ほど河田さんからご指摘いただいたページが、
1:52:04	それに当たりますして、BF4地点はどうだという前にまず一旦物差しとしてですね、
1:52:12	古谷泥層、
1:52:13	どうだというのをこちらで整理しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:52:17	そこで見てやると、箱書きが一番したですけども、
1:52:23	A C S E 丹先生堆積物の値を持っておりますので、この記載ですね、これだから僕はこれを読んで、海水流入環境下の結びついてないんですよ頭が。
1:52:35	それ、僕の理解が足りないっていうんだったらそうなのかもしれないんですけど、そうであるんだったら何かそういうふうな書き方をしてくれたらいいのになというふうに感じましたので、もうそれちょっと感想みたいな話で、
1:52:48	とにかく海水流入環境下であったという説明と、理解しましたので、はい、わかりました。
1:52:59	あと、
1:53:00	ちょっと話変わりますけど、
1:53:03	43 ページでこれ最初ニシキさんも確認した話なんですけれども、
1:53:13	ちょっと、
1:53:14	ニシキさんの質問に対する回答を聞いてて、
1:53:21	ここ、これを読むと何となくか書いてることわかったんですよ。
1:53:25	それに対して、多分、
1:53:29	この
1:53:31	この結果が 132 ページの、
1:53:34	①に当たると思うんですけど、
1:53:40	これって何か
1:53:42	多分 43 ページは、
1:53:44	広域的に分布する地層に相当するとしたら、何か笠名だったり、古谷だったりそういうものになるんだっていう説明だったのが、
1:53:56	732 ページを見てみると、
1:53:59	何か広域的に分布する。
1:54:02	物に対比できるとしたらっていう前提がもうなんかなくなってて、いきなり何か古谷泥層笠名。
1:54:10	だと思っっていうのから始まってっていうのが、何か
1:54:15	ちょっと意味合い変わってるのかなって思っはいるんですけど。そうじゃないんですがこのこういう記載で正しいんですか 132 ページは、
1:54:27	あとササキです。高野。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:30	第、この文章の第4紀層はというところにちょっと※とつもりではいるんですけどご指摘の通りちょっとわかりにくいので、ちょっと加筆訂正させてください。
1:54:44	はい、わかりましたでとにかく43ページの書いてることね笹木さんがさっき説明したことが、主張されたことだというふうに、わかりました。
1:54:55	あとはですね、
1:54:58	惜しいだとしたら、笠名。
1:55:02	新名と馬越の堆積物として笠名と対比をしましたっていう説明が、
1:55:08	比較をしましたっていう説明があるんですけども、
1:55:12	5Cで、笠名以外の堆積物だとしたらっていう話が、
1:55:18	これが119ページだとかの話。
1:55:23	何ですかね、ちょっとこの辺のお話が僕も、何か繋がりがよくわかってなくて、
1:55:31	この119ページは、5Cにあるその他の堆積物があるとしたらっていう前提で、作られてるのかっていうのをちょっと確認したいんですけども、あと121ページもそうですね。
1:55:45	ちょっと確認させてください。
1:55:49	はいその辺の立て付け系につきましては資料の冒頭、
1:55:59	12ページ。
1:56:04	ご説明しておりますこの資料、こういう、
1:56:10	流れで回答していきますよっていうので、
1:56:13	説明しておりますけれども、
1:56:16	まず先ほどもちょっといただいたご指摘と関連しますが、
1:56:20	広域的、
1:56:23	御前崎地域に広域的に分布する地層であればという前提を置いた上で、古谷泥層か笠名礫層に当たるんですけど。
1:56:31	ということで、
1:56:36	当たる可能性が高いのでというので、①から④までの検討をやっていっていいと。
1:56:44	いうものでございますので、後椎野家の広域的な地層に対比されれば、笠名礫層に当たると。
1:56:52	で、
1:56:53	ただそれは先ほど谷さんもおっしゃったように前提として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:57	広域的な地層であればというのが前提であって、泥層というのは局所的な環境下でも、
1:57:04	たまり得るのかどうかというのを別途検討しております。それが⑤の、
1:57:09	内容でして、
1:57:10	こちらについては特に時代、
1:57:13	江越に限った話ではなくて、
1:57:16	現世においても泥層というのはたまりえますし、
1:57:20	当然ご支持でもたまり得ると。
1:57:22	そういうすごいごくローカルな泥層と比較したのが⑤の検討になりますので、特に母子に限定しているわけではなくて、
1:57:30	ないですね。
1:57:32	その中でちょっと説明としてややこしく、
1:57:38	なっているのが、
1:57:41	123 ページですね。
1:57:47	惜しいが候補に上がりますよみたいな絵が入っちゃってるんですけどこれは何を言ってるかという、
1:57:53	この前段として、浜堤背後で泥層ってたまりえますよねっていうご説明をしているものですから、
1:58:00	そういった環境下でになり得るのは時代としていつなのかというのを示した。
1:58:05	ものでございますそれが
1:58:08	123 ページの内容です。
1:58:14	はい規制庁タニす。
1:58:18	つまり 119 ページは欲しいも含めての話ではあるんだけども別に限ってはないよと。
1:58:25	けれども、123 ページで言うと、こういったのがあったら可能性高いのは欲しいなんだよっていう。
1:58:34	今、
1:58:35	間瀬別にセットで、
1:58:38	セットで見るようなものではないけど言いたいことは、そういうことなんですかね。
1:58:45	はい森本です。その通りでございます前回
1:58:49	局所的な

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:52	浜堤の裏のドローもあり得るんじゃないかというご指摘もいただいておりますので、スライドとして前回介護からの繋がりも含めて、
1:59:00	こちらの方のスライドで、そういった環境がいつなのかというのを、補足。
1:59:05	させていただきます。
1:59:13	規制庁谷田はい。はい。お考えは、
1:59:17	確認できました。
1:59:19	あとはちょっと私よくわかんない 116 ページの、
1:59:24	この何か記載がすごく、
1:59:27	私は、
1:59:30	理解しにくくて、
1:59:34	これは何、何なんですってそのデッキがではできがどうやって入ってきたのかっていう話をしているのかと思うと、何かそうでもなさそうで、
1:59:45	何か何でこの浮いたような利益が入ってるんですかみたいなのも話としてはあったんですけども、
1:59:54	それに対して何か高海水なんで、高潮の堆積ストームの堆積物みたいな、
2:00:01	話も何かしてたような気もするんですけど、そういった説明とはこれはちょっと違う話なんですか。
2:00:15	はい森本です。そ、その前はですね
2:00:20	B F M先生水管橋が海の影響を受けているということで、
2:00:25	そういった先生環境になるのはどういった状態なのかっていうので、深い海だという説明をしております。今回、静水だ、それから、
2:00:35	皆影響を受けているというところを見直したつもりな見直しではないんですけども、その深い意味でたまったという点につきましては、再検討させていただきますして今回、
2:00:47	大枝に、
2:00:48	だという、解釈を、考察をしたというものでございますで、そういった間に、
2:00:56	前回は深見となった、そういった環境で、こういった礫まじり姑が形成される環境っていつなのかというので、
2:01:04	ストーム堆積物を事例に出して説明していた経緯がございますけれども、今回そういった覚書の中で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:11	品質点で力に対し、層相のものがみつかりしておりますので、
2:01:17	こういった環境から堆積したのかという考察をもって、BF4地点の堆積環境を考察すると。
2:01:24	紐でございます。
2:01:26	ちょっともともと説明してた、前回のものからですね堆積環境を、
2:01:31	の位置付けが冒頭ご説明したように変わっておりますので1考察として、
2:01:36	今回こういった資料をつけているというものでございます。
2:01:41	はい。規制庁谷です。ってことは、もう高潮でできる入ってきたっていう説明は、もう完全に取り止めるってことでいいんですか。
2:02:00	はい森本です。あくまで交差11ですので考察なんですけれどもその点については、従来の評価から評価とか考察から見直しているというものでございます。
2:02:19	規制庁谷です。何か多分僕らも説明の延長線上にこう、こういった資料を見てしまってるので、何かその辺で共通理解がなかなかしづらいのかなと思ってて、状況はわかりました。
2:02:34	あとちょっと細かい点なんですけど、107ページで、
2:02:39	放散虫の講師料、
2:02:42	これ相良層群、
2:02:45	からはですね。
2:02:46	何だっけ。
2:02:50	相良層群は完全体の化石が確認されず破片となったケース。
2:02:56	化石のみが確認されたってそういった記載なんですけれども、
2:03:03	これって、
2:03:05	1ヶ所だけを見てることなんですよねこのW18項の55.8メートルの。
2:03:14	で、そこを見たら、何て言うんですかね。
2:03:19	この、
2:03:21	BF4のところの話は、
2:03:24	ここの範囲を見て、何個あって、それが完全体だみたいな話があったんですけど、これってその55.4メートルのところみたいそれは、
2:03:34	破片だけしかなかったよって言うんですけどこれ、どれぐらいの範囲を見て、どれぐらいの母数があるのが、全部が破片だったとかいうその何か比較のお考えが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:50	よくわからないんですけど、今、今この辺でちょっと付け加えることがあれば言ってください。
2:04:02	と中部電力の南ですこちらの、
2:04:06	相良層からの二次堆積という形で
2:04:10	相良さんの方これ確認をしております、こちらの方はですね、一応W18ということも対象としてるのはもちろんコアの方これ見ておりますコアの泥岩から、
2:04:21	こういったものを見るという形をしておりますと一般的にSEMの形になってきますので大きさとしては非常に小さいとただ、
2:04:29	大きさとしては1000近く程度のものになるんですけどももともとの放散虫を、
2:04:35	確認したっていうこれも珪藻とかそういった化石になってきますけども分量としては同じ程度のものを見た上での判断をしていると、いうことになっておりますのでちょっとそういったことがわかるようには、どういったものを見て、
2:04:49	これは判断しているかというのは、追記したいと思います。以上です。
2:04:56	はい規制庁タニさんは、状況はわかりましたととにかく十分な量を見て、たくさん見たんだけどそれは全部かけたばかりだったっていう説明。
2:05:07	ですね。
2:05:08	だんだとしたらその辺ちょっと書いてくれたらと思います。
2:05:15	中部電力オオミナミで承知しました。
2:05:24	先ほど生駒谷さんおっしゃいました体制環境の話についてですけども、従来の説明の延長線上で、
2:05:33	ご覧いただいているという点について思ったのかと思いますので、
2:05:37	そちらについては変更した内容がわかるように従来こういった環境で利益が入ったんだという考察の資料としてお出ししておりますので、
2:05:46	そっからの見直し見直したことがわかるように少し
2:05:51	補足させていただきたいと思います。以上です。
2:05:58	はい規制庁タニお願いします。
2:06:00	あとですねこれ前も聞いたかもしれないんですけど、
2:06:05	このBF4地点だとか、BF1地点の周りって、なんか結構こう踏査とか、されてるんですけどたっけそそのたくさん踏査とかされて、
2:06:16	もうこの泥層、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:18	このような、或いは、
2:06:20	笠名礫層に相当するような地層が、
2:06:24	見つけたのはここ、この、この何地点かだけなんだっていう説明でしたっけ
2:06:30	調査結果っていうのがどれぐらいの範囲であるのかっていうのを、口頭で教えていただけたら。
2:06:36	と思うんですけど。
2:06:49	はい中部電力の森本です倒産範囲についてですけども、資料で言いますと、
2:07:04	ただダイレクトにそのあたり説明したものではございません。すいませんが9ページに記載しております。
2:07:11	敷地周りについては保護区くまなくといいますか藤澤。
2:07:19	ごめんなさい、補足説明資料の9ページ。
2:07:24	2、
2:07:25	なります。
2:07:30	敷ちいの周りにつきましては、細かくほぼベタで踏査をしておりますて、
2:07:38	こういった実質図を作成しておりますその結果、
2:07:42	確認できている礫層、それから、
2:07:45	泥層というのが今までご説明している通りの箇所でございます。
2:07:52	はい。説明ありがとうございます。結構しっかりとある程度広い範囲でされてるっていう説明なのかと思うんですけどこの当座って、やっぱり着目した点として、
2:08:05	笠名礫層古谷泥層みたいなものがないのかとかそこを結構主眼に置いて踏査されてるってことなんですかね。
2:08:19	はい森元です。その通りでして
2:08:24	やっぱり上載地層として使える上部更新統。
2:08:30	がどこかにないかというところに、一つ、
2:08:35	着目して、当然地質を
2:08:38	広域的に把握するというのも当然目的の一つでありますけれども、
2:08:42	そういった第4紀層を重点的に見ているというのはその通りでございます。
2:08:48	タニですはい。状況わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:55	規制庁のカイダです。はい。今ちょうど補足説明資料の9ページが出てきたので
2:09:02	大したことではないんですけどお願いしたいんですけども、これも表題が、
2:09:09	B F 4 地点ごく近傍の云々かんぬんと書いてあるんですけど、この図の中にB F 4 地点がどこかっていうのは書いてないので、
2:09:19	入れておいていただきたいのでお願いします。で、B F 4 地点というのはこれ、
2:09:25	何かモリみたいなのが書いてあるんですけどその近くで何か古谷泥層ってというのは、
2:09:33	ちょっとこの図から読み取れないんですけどもそこら辺に、これは実際は書いてあるということでよろしいですか。
2:09:46	はい。森本です。モリ堂の辺りも少し西側の地点になりますがこのスケールだと、大分小さくて見えておりませんが、当然
2:09:55	江崎カイダさんおっしゃるように、地点として、重要な情報ですので、ポイントは落とさせていただきます。
2:10:04	はいお願いしますB F 4 がどこかっていうのもB F 1 と同じような形でねぐるっと囲むなり、あの辺で示すなりお願いします。
2:10:20	ここ、
2:10:22	規制庁丹です。ちょっとまたすごく細かい話ですけど、11 ページで、本編の11 ページで、
2:10:28	花粉、
2:10:31	このところ、
2:10:33	好評で、B F 4 はごく微量なんですよと。
2:10:37	いう話をしてて、
2:10:40	比木2とかでは、花粉が少ない層準っていうふうな書き方をしてるんですけど、このごく微量っていうのと少ない層準というのは、
2:10:52	もう同じぐらいビデオなのか、それとも、
2:10:55	少ないって言うてるから、結構、結構じゃなくて、この違いって、
2:11:00	結構あるものなのかどうなのかごく微量っていう手程度っていうのをちょっと教えていただけたらと思います。
2:11:13	はい。森元です。すいません記載がちょっと統一がとれてなかったもので、わかりにくい点があって申し訳ございませんでしたが、少ないというところとごく微量のところは同程度の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:11:24	産出量という、
2:11:26	上にとらえております。具体的な数も、
2:11:28	それほど違いは有意な差は出てないと考えておりますのでそのあたりは記載をさせていただきたいと思います。
2:11:38	はい規制庁谷ですはい。規制、統一していただいた方がわかりやすいと思うのと、あとですねこの11ページの右下で、
2:11:48	凡例で、
2:11:51	礼装を古谷泥層相当と評価した根拠っていうのが水色と緑色がありますよね。これってどう違うんですか。
2:12:04	赤井森本です。ちょっとこのあたり、一色で統一しようか。
2:12:10	色を分けて書こうかな、我々としても悩んだところではあるんですけども要はですね表創造って見て、
2:12:17	確認しているところと、試料分析結果を火山灰だとか花粉だとか微化石、こういったところから、
2:12:25	分析結果から検討しているところで、
2:12:28	どちらが軽重というものでもないものですから、こういった
2:12:34	違う視点で、同じことが確認できているということの色を上げて今回表現させていただきました。
2:12:44	愛知規制庁タニですはい、わかりました。
2:13:17	はい。今こちらで本庁の方二名ですけど、
2:13:21	次、誰かいます。他、
2:13:24	私からもよろしいですか。今は大井参事、大井ですけど、規制庁のオオイの方から。はい。すいません。少しわからん
2:13:36	先ほどの件、先ほど谷さんの方の質問と絡むんですが、
2:13:41	結局これ静水環境っていうのは、まだ生きているという花Cを、
2:13:48	事業者の方からされた。
2:13:51	と思いますけど、僕ちょっとおぼれ谷山井関層についてあんまりよくわかってないんですが、
2:13:57	折れない埋積層ってのはこうなんか埋積って言うので何かこう一気になんかこう、埋積なんかこう静水頭の逆逆の子、逆のセンスで僕は、
2:14:07	ちょっと読み取ってはいたんですが、そうではないということでもいいですか。ごめんなさいちょっと確認させてください。
2:14:16	田崎です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:18	確かに前回まではその静水環境という言い方をされていてそこから先の解釈がちょっと変わってるというところで、
2:14:27	覚える波というのは、堆積物がたまるよりも、
2:14:32	遥かに速い速度で回診が進んで、
2:14:37	もともとその陸地だったところが、その水の底になるっていう状態を指します。なので、堆積物がどう溜まってきたかってのは上流側の
2:14:48	集水域面積っていうか、溶接と土砂を集めてくる面積。
2:14:52	によってその堆積速度ってのは変わってくるんですけども、少なくともこのおぼれ谷で言いたいのは、先に海が入ってきて、ある程度の
2:15:03	水深のあるタニができてそこにしずしずと、泥層とか、或いはここでいうと利益なんかがぼつらポツが入りながら泥が溜まっていった。
2:15:18	環境を考えております。
2:15:21	はいわかりました。
2:15:24	であれば、堆積物というのは、少し位置性を含まってということではないということですかね。ごめんなさいちょっと。
2:15:32	小野瀬、宗石津ということになるとやっぱりその、放散虫やら、そういう上にあった一連に来てたものがそのまま堆積したという理解は変わらないということですか。
2:15:45	一一性といいますか、ですね。
2:15:49	もう少し言いますと菌田カラー
2:15:52	A、
2:15:55	海水が上がってきて海の側で、海のそばっていうかまさにその海なナリタてのところでたまるもんですから、海の影響繋がります。その泥層ってのはどこから来るかっていうと、陸から来るので、
2:16:08	その陸の影響をすごく受けている。
2:16:12	そういったのが
2:16:16	ここで言うところの、これはここで言うところっていうかいわゆる、覚えタニ堆積層と呼んでるものになります。なので、
2:16:24	その気質を見るとすごく、陸成とか河川性みたいなものの
2:16:36	影響がすごく強い堆積物としていろんなデータが出てきていて、
2:16:41	今度は歴とかを見ると、
2:16:44	歴或いは砂砂中に入っているざくろ時なんかを見ると、その海の影響も入っている、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:51	利益とか砂サイズのもものが、海の影響を受けたものが堆積する過程で、その放散虫なんか紛れ込んだんじゃないかなというふうに考えてますので、
2:17:05	何て言いますかね、広井。
2:17:08	大陸棚の海の大陸棚の外の、
2:17:12	いわゆる
2:17:17	遠洋性外洋性の堆積物、
2:17:20	ていうわけではなくって、そういうところに放散虫そういうところの放散虫というわけじゃなくって、そういった海の側で、おぼれ谷を形成したことによって、海起源の放散虫みたいのが紛れ込んだというふうに考えてます。
2:17:35	はい、わかりましたお考え。
2:17:37	あともう1点、空間についてもうちちょっとこれは、これもカイダさんの方から100件ですけど、風化もまだ
2:17:48	少し加味しているという古藤でしたが、一応、前回の会合でコメントとして風化として考えるのであればXRD、
2:17:58	分析結果とか、考察ありますかっていうことはし、一応コメントはしますが、
2:18:03	今回結局はそのゴールデン埋積堆積物っていう、
2:18:08	じゃないよ。
2:18:10	例えば風化っていうより風化っていうのがあんまりちょっと薄れてる感じがするので、XRD分析等は
2:18:18	今回そういう意味ではしてないということでした。ちょっとごめんなさい資料読み込めてないのかもしれませんが、ちょっと
2:18:24	お答えいただけますか。
2:18:27	はい中部電力の森本です。
2:18:30	あと、先ほど海上さんのご指摘あったふうカー、
2:18:35	その影響については資料として記載させていただきます。それから、
2:18:39	それを前提に、前回コメントをいただいていたXRDの結果との整合性も図ることということでしたが、今回はそれよりも、
2:18:49	今大井さんおっしゃったように影響の強い、
2:18:51	非化石だとそもそも少ないというところを確認しましたのでそこについては特に追加の検討というのを行ってないというものでございます。
2:19:01	はい、わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:03	あと、もう1点すいません。貧化石体っていうところで40、
2:19:10	48ページに文献を追加されたということでした。
2:19:15	で、
2:19:19	ちょっとよく
2:19:21	わからない点っていうのは、
2:19:24	何て言いますかねこれ。
2:19:28	還元的な環境っていうのは、提出が、
2:19:33	還元的ってのは何かおぼろタニってのは何となくイメージがつくんですが、
2:19:37	浮いてるような放散虫、
2:19:41	矢田珪藻でないか。
2:19:43	なんですけど、
2:19:49	ごめんなさいちょっと私もちょっと今先ほど笹木さんから紛れ込んできたっていうことで
2:19:56	放散虫はそういう意味で、紛れ込んできたものでその他は、
2:20:02	もともといなかったという理解。
2:20:04	ということですね歓迎的な環境のために、
2:20:07	ちょっと確認ですみません、失礼しました。
2:20:12	あと、おっしゃる通りです衛藤。
2:20:15	小原に堆積層で還元的な環境というと、今の環境で
2:20:23	今の環境でいいますと、
2:20:27	結構
2:20:29	深い水深で、要するに旧部下のタニがあって、そこに、
2:20:35	上流から泥層がフワーっと溜まってくると、水が濁るので、光が届かなくなるんですね。
2:20:42	てこ光が届かなくなると、その
2:20:46	生物の生物活性化すごく落ちる泥層ということから、その還元環境とかになりやすいんですけども、
2:20:54	そういったことで、固まった道路なんですけど、すぐ
2:20:59	そこはもう、
2:21:02	海水で、
2:21:05	海水がこう改修が進んで、海の底になったところですから、その海の影響も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:10	必ずその影響もあるというところで、放散虫なんかが入っていると、いうふうに考えています。以上です。
2:21:22	わかりました丁寧に説明いただきありがとうございます。私からは以上です。
2:21:39	規制庁佐口ですけど。
2:21:41	ごめんなさいすごく初歩的なことを聞くかもしれないんですけど、
2:21:47	まず 11 ページで、
2:21:50	前回からの変更点、わかりやすくというか、一覧表にさせていただいたんですけど、
2:21:57	ちょっと 1 点、よくわからないのが、BF1 地点の一番上の層相のところ、
2:22:05	あくまでもこの硬岩力を含む層準が古谷泥層ではないってことを確認されてるんですけど。
2:22:11	これって、当然ながら、資料をよーく見ていけばわかると思うんですけども、
2:22:17	これまで古谷泥層として、認定していたところの一部が、
2:22:26	古谷泥層でないっていう。
2:22:29	評価を変えられたってまずそういうことだと思うんですけど、今こういう書き方をされると、何か、
2:22:37	このBF1 地点すんのoff 泥層そのものがですね、古谷泥層じゃないっていうふうにも、内容をよくわからない人から見るとそう見えちゃうんですよ。
2:22:50	て言うのと、
2:22:53	じゃあ何泥層なったかっていうと、この硬岩歴、
2:22:58	っていうのも当然今までは、
2:23:01	あってで、ごめんなさいね細かいことなんですけど、
2:23:05	これまで基底礫って多分、
2:23:07	書かれてたのを今回ちょっと硬岩で切って帰られて、表現ぶりだけなのか。
2:23:14	わかんないんですけど、そもそもその基底礫っていうのを硬岩歴っていう変えられた意図っていうのもちょっと加えて教えていただきたいんですけど。
2:23:23	それとあわせて、結局ですね、このVF1 時点っていうのは、この硬岩歴っていうのがそもそもあるのかなのか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:34	結局わかんなくなっちゃっていてこの前までその評価していた層準の、
2:23:41	硬岩れ切って、
2:23:43	というのが結局何もなかったのっていうのと、
2:23:48	じゃあそれが何かこの古谷泥層じゃないって今回評価したことによってそのその他のいろんな、多分町調査の資料とかあると思うんですけどどうだったリポーリングだったり、そういうところも含めて、
2:24:02	いわゆるこの硬岩歴に当たるようなものは、
2:24:06	結局、一切ないのか、それともあるんだけれども、
2:24:10	いろいろこう、
2:24:11	分析とかをされてないのか、どちらなのかちょっと教えてください。
2:24:19	はい井元です。まず最初にいただきました表の中で
2:24:25	少し誤解を招くような表現があるという点については改めさせていただきます。
2:24:30	二つ目にいただきました、B F 1 地点、
2:24:37	朝、最後にいただきます硬岩引きがB F 1 地点にあるのかないのかについては最終的にB F 1 地点、
2:24:45	今確認できている範囲では、
2:24:47	硬岩歴は認められていないというのが最終的な結果でございます。
2:24:55	その硬岩力ともともと基底礫と言って我々説明していた内容を今回、硬岩力ということで、記載を改めさせていただきましたその経緯なんですけれども、
2:25:06	そもそもB F 4 地点において、
2:25:10	規定付近に認められている力を我々基底礫基底礫という言い方をさせていただいておりましたが、
2:25:17	会合それからヒアリングでですねこれはちょっと基底礫とは違うんじゃないかというご指摘もいただいておりますし、
2:25:25	基底礫本来であれば、
2:25:28	河谷といいますか、系海水準期に母管を削り込むような、
2:25:33	礫層基底礫というのが実質的に正しい表現ですので、
2:25:38	それは誤解がないようにですね今回記載を、
2:25:41	変更管理と、
2:25:43	要は規定付近に利益があるかないかという観点で改めさせていただいたというもので、
2:25:49	ございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:51	少し
2:25:53	一番最後にいただいた
2:25:57	B F 1 に硬岩力が最終的にあるのかないのかっていう点につきましては少し読みにくいところがあったと思いますので、
2:26:05	補足、追記させていただきたいと思います。
2:26:12	はい佐口ですけども、そうすると今ちょっと森本さんのご説明だと、あくまでも何て言うんですかね、硬岩で規定されたのは、
2:26:23	要素の位置関係、
2:26:26	この泥層の中のどの辺りにあるかっていうので、変えられたっていうご説明を今されてたような気がするんですけど。
2:26:38	例えばですよ。
2:26:40	これって、
2:26:42	67 ページとかで B F 1 地点、申し傷っていいのか、
2:26:48	あって、68 ページも同じようにあるんですけど、
2:26:52	何かこの
2:26:54	B F 1 地点の、要は一番その古谷泥層でされているところの規定のところって、益が当然あって、
2:27:03	この利益はこの地点の利益は、あくまでも相良層のシルトがんからなるっていう、
2:27:11	ところなんですけど何かそれと区別するために、
2:27:16	硬岩歴って今回変えられたってそういうわけではないんですか。
2:27:27	はい。森本です。B F 1 地点についてはそれ佐口さんおっしゃるように、先ほど B F 4 地点で基底礫と表現が正しくない。
2:27:39	なかったのというご説明いたしました、
2:27:43	例えば B F 1 地点においても、いわゆる基底礫と言っているところと、
2:27:50	いわゆる基底礫と言われるのは 69 ページで言いますと、一番下の、
2:27:56	シルト質歴、
2:27:58	に当たりますので、
2:28:00	そこ等指している内容が、
2:28:03	こんがらがらないようにという観点でも、今回表現を改め、
2:28:09	させていただきました。同じことが引地店でも、
2:28:15	言えまして、ページで言いますと、
2:28:19	重要図を書いておりますのか、57 ページ。
2:28:26	になりますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:28	規定カラーベキを含むユニットっていうのが複数ユニットを確認できております間に砂だったり、提出のものを挟んでいると。
2:28:39	いう状況でございます。この中で、本当の基底礫というのは一番右下の基盤直上のものを基底礫というのが実質的には正しいので、
2:28:48	そのあたりの誤解がないように今回、記載を改めさせていただいたという、その点も含めてですね改めたというものでございます。
2:28:58	はい佐口です。そうすると、なのでいわゆるこういった相良層、
2:29:04	の相良層のべ、泥岩みたいな、
2:29:09	映画なのかシールドがなのかわかんないんですけどこういうもの。
2:29:14	もあるので、
2:29:16	それと区別するという意味合いもあるという多分ご説明だったと思って。
2:29:23	そうすると、ちょっとその、
2:29:26	B F 1 地点、実際にその硬岩歴あるのかないのかっていうのを先ほどお聞きしましたが何か多分、
2:29:34	今確認されてる。
2:29:36	限りにおいてはないう話で、だけどころいった、いわゆる相良層のシールドが鳴りっていうこうこういうれきはなんか入ってるっていう話だったんですけど、
2:29:48	そうすると、
2:29:50	またちょっとごめんなさいね私だけ理解してないのかもしれないですけどよくわからないのは、130 ページで、敷地の提出堆積物の、これ層相とかって、
2:30:02	出されていて、
2:30:03	ここの、
2:30:05	3 ポツ目にあっというずれの調査地点においても相良層のベキであって、
2:30:11	0 層に確認されるような硬岩歴が含まれないってされてるんでしょうね。
2:30:16	そうすると、この B F 1 地点の泥層と、この 130 ページのこの泥層泥層というのか、
2:30:24	これ、これってん何と何がどう違ってくるのっていうのが、
2:30:29	ちょっとよくわからなくて、具体的に何が違うのかちょっと教えてもらっていいですか。
2:30:38	はい森本です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:30:40	敷地の中で出ている 130 ページのベース堆積物、
2:30:44	投影と B F 1 地点の 0 泥層古谷泥層ですけれども、層相の見た目だけで言いますと、今沢辺さんおっしゃったように、
2:30:56	目視の段階では違いはないというのが実情でございます。
2:31:01	間違ってるのは言う違ってるのは、表層付近に腐植質シルトが、
2:31:06	敷地の中の堆積物には含まれていると。
2:31:09	ということでございまして、
2:31:11	古谷泥層と言っているものと、敷地の中で、狭いタニにたまっている泥層と、
2:31:18	を比べると、層相に明確な違いというのはないというのは、
2:31:24	これ、これは事実です、違いとしてはですね、
2:31:29	こちらの小口方向として 130 ページにも書いておりますが分布している標高が、
2:31:36	敷地のものに関しては大体標高が 20 メートル前後の道路であるのに対して、
2:31:42	B F 1 地点に関しては、基底の標高が 50 メートルを超えてくるということで高い標高で確認できているというものでございます。
2:31:51	130 ページではあくまでその B F 4 地点の 0 層と、何が違うのかという観点で、整理をしたというものでございます。
2:32:03	はい。成城サグチです。なので少なくとも B F G とかとあと敷地内では標高を分布してる標高が全然違いますよと、そういう説明ということでよろしいですね。
2:32:18	はい。そうです。層相はそれほど違う見られないんですけど、評価として全然違うというものでございます。
2:32:26	はい。佐口さんの説明はわかりましたありがとうございます。
2:32:44	規制庁の松江です。
2:32:47	聞こえますかね。
2:32:50	私の方からちょっと
2:32:53	確認とお願いなのですが、61 ページ。
2:32:59	お願いします。
2:33:01	これ引き比木 2 地点で衛藤。
2:33:07	ボーリングの柱状図と、露頭の柱状図で柱状図を変えましたと。それで、
2:33:15	62 ページに書いて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:17	にある露頭からの花粉分析のデータも、
2:33:21	加えたという、になってるんですけども、
2:33:24	この緑、一番下の2、二つの緑だけがこれ多分露頭のデータかと思うんですが他のやつは、多分私の見る限り、
2:33:35	入ってないように思うんですけどそれでよろしいですか。
2:33:42	塘井本です。前回もそのの廃炉等のデータの反映状況が見えないというご指摘いただいておりますので、
2:33:49	今回 62 ページ、
2:33:52	このような、露頭のデータも反映しておりますというご説明を付け加えさせていただきましたが、
2:34:02	それですね、
2:34:07	柱状図を変えられて、もし期中常識1点のチュウゾウこれで変えられたっていうんですけど他の部分は全部炉、ボウリングHす。
2:34:17	W30 による、
2:34:20	柱状図ということでもいいんですかね。
2:34:24	モードっていうモード柱状図って書かれるとなんか、複数のデータをコンパイルしたかっていうふうなイメージが
2:34:32	受けるんですけどこれはボーリングの単、一本のボーリングの柱状図という理解でよろしいですか。
2:34:39	このリモートですそれにつきましても前回、モード柱状図のデータから作っているのかが、
2:34:45	わからないというご指摘をいただいておりますので、
2:34:49	今回補足説明資料、
2:34:54	37 ページ以降にですね、モード柱状図と調査データとの対応関係を示させていただきます。
2:35:02	で、
2:35:03	38 ページから 40 ページで、秘密点はこういったデータに基づいて、こういったコンパイルしたモード柱状図を作りましたというのを示しております。
2:35:16	少し 61 ページからのひもづけが見にくい部分がございます。あって、あったかと思しますので、
2:35:24	その点は、この補足させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:29	書いてあることは理解できるんですけども、一方の中、ボーリング用の柱状図を模式柱状図とは普通は言わないと私は思うんですけどそれは、
2:35:40	書いてあるので、よろしいです。
2:35:42	もう1点、
2:35:46	54 ページで、
2:35:50	防花粉分析の結果から相良層の、
2:35:55	大戸を古谷泥層の境界について、
2:36:00	まへん。
2:36:02	従来の資料から変更したと。
2:36:06	どっちもできん。
2:36:09	どこに境界を含んだっていうのはなかなか難しいんだっていうのをササキ、
2:36:13	さんからさっきご説明あったんですけども、
2:36:37	すいません中部電力ですけども少し音声が入り切れてしまいましたので、
2:36:43	もう一度お願いできますでしょうか。
2:36:47	失礼しました。よろしいですかね。54 ページで、
2:36:55	W30 港における相良層のトップと、古谷ですのベースの境界については、
2:37:03	決め切れないんだというご説明を佐々木さんから先ほどありましたけれども、
2:37:11	その辺が52 ページとか53 ページの柱状図に、
2:37:17	反映がされてないので、その辺はちょっと不交付、工夫していただければと思います。
2:37:29	以上です。
2:37:37	はい。中部電力の森本です。
2:37:40	そこの解釈、
2:37:46	模式柱状図に行き入れ込む。
2:37:50	音というご指摘でよろしいでしょうか。
2:38:00	本社として境界をどこに置くんたという説明を最終的にどのようにされるかっていうことだと思います。
2:38:16	はい。中部電力の森本です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:19	その辺りは少し工夫させていただきたいと思います。ありがとうございます。
2:38:29	ちょっと補足ですけども、多分 54 ページの、
2:38:37	54 ページの図を見ると、相良さんのトップとフレアベーションベースの間に、グレーゾーンが残ったままなので、
2:38:46	これはいつまでたってもこれを見る人は、
2:38:49	これ何、どう、どうなってるんですかという疑問しか出てこないなのでその辺をきちんとどっかで説明をして、
2:38:56	先ほど笹木さんがおっしゃったようなことも含めてきちんと、
2:39:02	御社の考え方をまとめられた方がよろしいかと思います。以上です。
2:39:08	はい、森元です。
2:39:10	その考えを書いたのが 54 ページの箱になりまして、
2:39:17	グレーゾーン。
2:39:19	これをコアで確認した。
2:39:21	ところについては、グレーゾーンと言いますか、
2:39:27	これ以上、このコアだけを使っても何も判定できないのでという、
2:39:33	判断できませんということは、このページに記載させていただきました。
2:39:38	で、そのページと他のページとの整合の観点で少し記載については検討させていただきたいと思います。
2:39:49	規制序谷ですけどね。ちょっと私の方からも、だからここって、柱状図だけを見ると、この地層が、
2:40:00	実際のところが反映できてないのかなっていう感じがあって、何か
2:40:06	中学かなんかでも、こういう地層があるよっていうのが、どっかに入っとけば、それは説明できてることになるのかなと思いますので、その辺の工夫をしていただけたらということで、
2:40:18	柱状図を書き直してくれとかそういうつもりはありませんので、
2:40:22	お願いします。
2:40:25	はい。提案ありがとうございますモリモトですよろしく承知いたしました。
2:40:47	はい。他よろしいですかちょっと大分時間は押してますけども、
2:40:53	特に大丈夫ですか。はい。
2:40:55	そうしたら、すいませんちょっと時間がもう 7 近くなってしまいましたけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:01	では次、品証のほうちょっと時間ないので、完璧に努めたいと思いますが、はい。
2:41:09	また説明をお願いします。
2:41:12	数5分以内で、
2:41:16	はい。中部電力浜野でございます。それでは、審査資料の品質確認についてということで、資料、前回のヒアリングからご確認いただいたところを修正して参りましたのでご説明させていただきます。
2:41:30	基本的に修正した箇所は紫色の字で記載をさせていただいております。
2:41:35	めくっていただいて2ページ、一番下ですが、ちょっとこの資料自体が、誤記に対するところをクローズアップして書いていたと。
2:41:47	いうところが冒頭読みにくいところがございますのでここでまず制限をしております、基本的に必要なエビデンスの折り込みだとか過去に作成した資料と、
2:41:57	いったところの、品質保証体制の話は、前回の審査会合で報告済みで、今回は、この誤記に関する対応間違いのところにクローズアップしておりますという注記を書かせていただきました。
2:42:13	めくっていただいて3ページですがこちら紫の字で書いております表現がちょっと不適切でわかりにくかったとかを修正しております一番上の第443回の主要な説明のところで、
2:42:25	前回、何か数値単位のみを記載ぐらいで終わっていてな、何が意味がわからないというところがございますので数値単位を記載しその辺りに対する評価考察は記載していないと。
2:42:38	いう正しい状況に記載を改めました。
2:42:41	同じく中段第107回のヒアリングのところで、これも記載を適正化させていただきまして比木の自然増の強化、
2:42:50	ビーカ強度を誤って記載して、シンチに対して3桁小さい値を記載しましたという1点と、数値の違いを比木2地点は遠方に位置しているからという誤った評価を記載しましたと。
2:43:02	いうところを記載適正化させていただいております。
2:43:06	めくっていただいて4ページここが一番
2:43:11	大きかったところですが、主たる原因と副次的という、正しくない表現しておりましたので右上のところですが赤い枠についてはこれは誤記が発生した原因ということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:24	動き述べ、原因分析をしております緑の枠の方は、誤った評価を記載するという、誤った対応が継続した原因ということで、それぞれ
2:43:37	両方ともしてた主な原因ということでその分類を分けたという形にさしていただきました。
2:43:44	で、5ページからが、5ページがまず、誤記が発生した原因とそれの対策というところで、記載の適正化をさしていただいております。
2:43:57	一番下の、本事象についてはC R登録した上で是正措置計画を立案し作成承認プロセスに反映を行っている、前回は記載してあったんですがちょっと、
2:44:08	協調が足りなかったところもありますのでもうすでにこれらを取り組んでいますということがわかるように修正してございます。
2:44:17	6ページですが、同じように、誤った評価を記載するという対応が継続した原因ということでそれへの対策という記載をさしていただいております。
2:44:28	特に私の方で、啓蒙を行うというところで、実際何をするかということに記載させていただいてきまして、具体的には、
2:44:40	今回の授業を各部署における安全文化ディスカッションの中でディスカッションを行うという取り組みをしておりますこれは、健全な安全文化の醸成に関する年度計画において四半期ごとに行うことを定めています。
2:44:55	ということでそれぞれの
2:44:59	このディスカッションの中でしっかり議論してこういうことが起きないという啓蒙を行うということに記載させていただきました。
2:45:06	こちらにつきましても、一番下ですが、C R登録した上で是正措置計画を立案して、以下の通り対応しているってことでこれを原子力土建だけではなく原子力本部大へ展開とするということで、
2:45:20	本税事象を安全文化ディスカッションのテーマの一つとして継続的にディスカッション活動に取り組むことにより、原子力本部大で意識の維持、向上を図るという対応を進めさせていただくこととしております。
2:45:35	で、8ページ以降の参考のところにつきましては最初に申し上げた、数値のみの記載というはわかりにくい表現のところを、
2:45:46	数値単位を記載し、その辺りに対する評価考察は、記載していなかったということ順番に記載していきまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:56	14 ページのところ、13 ページですいません、13 ページのところ、10 のマイナス 3 乗とちょっとわかりにくい表現だったのでシンチに対して 3 桁小さい値を記載したという、
2:46:08	間違いのことを正しく読めるように記載をさせていただきます。
2:46:15	それぞれのページを、同様の修正を加えているという状況でございます。説明は以上です。
2:46:26	はい。ご説明ありがとうございます。一応前回からのヒアリングの変更ということで、
2:46:33	本こちらの方でちょっと前回、途中で読んでいて引っかかった部分は書いていただいているかなとは思いますが、
2:46:41	その上で、
2:46:43	ちょっと前回の会合の議事録なんかも有返しですねちょっと幾つか質問なんですけど、
2:46:51	例えば 5 ページのところ
2:46:54	一応本日 O C R 登録をし、
2:46:59	反映を行っているところの辺からちょっと今の現時点というか、C R 登録して今どのタイミングにいるんですかっていう、時系列をですね。
2:47:09	どっちの方がいいのか 7 ページの多分フローチャートで今どこにいるんですかという意味で、説明いただいてもよろしいですか。
2:47:17	何で C R 登録は、Q M S に基づいていつ、
2:47:21	登録をして、
2:47:23	いつ是正措置の計画立案をして、もう実施中なのか、これから実施しますのかっていうか、その辺りもですね。
2:47:32	はい。中部電力浜でございますすでに実施済みでございます。
2:47:37	で、
2:47:39	特に 5 ページのところは実施済みという形にしておりまして 6 ページ今日、ヒアリング結果で、ご確認いただいた上で是正措置の方法を報告しようという流れになっております。基本的なルーチンとして、
2:47:56	この 7 ページに記載してあるチェックの体制をしっかり維持しつつ、
2:48:03	P D C A をまわしていくということは今もうすでに運用をしているというものです。
2:48:10	すいません、具体的に言うと C R 登録したのいつですかっていうところからなんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:48:22	すみません、中部電力ものでございます。ちょっと今すぐに入れないんですが、少々お待ちいただいでよろしいでしょうか。
2:48:30	あまり正確な日付でなくて結構なんですけど。いや、要するに、
2:48:35	ここで言うと 1035 回とか 1041 回の審査会も、
2:48:40	どの辺のタイミングですかって、もっと前に登録したのか、いや審査会合で、
2:48:45	個別に 1041 回で取り上げられたので、C R 登録しましたのか、っていうそれだけなんですけど、
2:48:52	中部電力天野でございます。前回までのこの 7 ページと同じものにつきましては 1041 回の前に登録しました。で、今回の単位を含むところの、
2:49:06	より深掘りして原因が何で対策がどうかというところを織り込んだ部分につきましては、1041 回の審査会合が終わった後に、
2:49:19	これらの対策を検討して C R 登録した上で、対応しているという状況でございます。
2:49:29	すみません。今回これ、単位の間違いですけど、
2:49:35	それ以外のものに 5 合流したんですかそれともこれはこれとして登録したんですよね。
2:49:41	本事象については C R 登録した上でって書いてあるので、
2:49:45	何で 1041 回の審査会合以降に、本事象について C R 登録をして、
2:49:51	ここにフローチャートとかも含めてですね政治の計画を立案して、
2:49:56	それをまさに実施。
2:49:59	しておりますと、そういうことなんですよね。
2:50:03	別にそれが悪いって言ってるんじゃないんですけど。
2:50:06	はい。中部電力天野でございます 1041 回の時にご報告させていただいた後の深掘りを、今回改めて
2:50:16	登録させていただいたという状況でございます 1041 回時点では特にエビデンス不足であったり、上のデータの記載。
2:50:28	貼り間違いといった事象について、C R 登録してこのフロー資料サクセス承認プロセスっていうのをしっかり構築した上で、是正措置プロセスの方で P D C A をまわしますと。
2:50:41	いうところを、ご説明させていただいたというものになります。
2:50:46	はい。それはあれですよね。例えば着経験ラインが専門家によるチェックとか、多分そこら辺が改善策として出てた一般的な話で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:50:59	それはもう、何ていうか 1041 回の中には自制措置として、こういうまわし方をしますとご説明いただいています、
2:51:06	そのあとに、
2:51:08	昆島から本件をCR登録して、さらにもう少しその単位間違いみたいなところも、
2:51:16	まず、追加修正っていうんですかね、資料チェックのやり方としては1本なので、
2:51:22	ああ、なるほど、わかりますちょっと流れはわかりましたと。
2:51:25	あとすいません7ページのところで
2:51:30	今後審査資料のまとめ段階に入っていくことからと書いてあるのですが、
2:51:36	この括弧資料への水圏展開を含むとか、
2:51:39	この矢印最後戻って矢印ありますよね。
2:51:43	これはどのあたりまでやられているのかこれからやるのか、ですかね、まとめ資料を作る段階になって、過去資料のものをいろいろとふやしてみるのか。
2:51:54	これはもうすでに、
2:51:55	過去の資料ですね、本件以外ですけど、
2:51:58	本件以外の他の資料もチェックをしているのか。
2:52:02	やるとするとかなりボリューム感があって大変なんですけど、
2:52:07	はい中部電力浜名でございます。他、例えばんと言ってしまうんですが
2:52:13	先般審議特定する地震動っていうような形でまとめ資料をご説明させていただき段階において、再度、そういった間違いがないかというワンスルーをまわしたりをしていると。
2:52:28	というのが実態でございます。一方で例えば津波評価については常に、基本的に
2:52:36	最新の資料、まだ概ね妥当と評価いただいてませんので常に最新のデータが間違いがないかという形でチェックをしているという流れでございます。
2:52:50	なのでそれ断面駄目でまとめるという、
2:52:54	ステージも意識しつつ、過去分の間違いもないかというところを見ながら対応しているというものでございます。
2:53:05	はい、わかりました現状はわかりました。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:11	それではですねちょっと一応前回の会合での指摘に沿って、
2:53:17	最後の確認をしますけれども、
2:53:20	一応すみません 4 ページの原因部究明のところの読み方ですけど、
2:53:26	これは、
2:53:30	右側のマル C、マル B0C ですね。
2:53:34	これが A と。
2:53:38	実際これを起こしたのは作成チームで、C のところに書いてある思い込みもうこれは作成チームの思い込み。
2:53:46	というふうに考えればいいんですよセルフチェックですから。
2:53:49	で、同じように行くとも技術的チェックの原因。
2:53:55	この D と E ですけどこの E の思い込み批判的チェックがおろそかっていうのは、
2:54:03	これは経験豊富なラインが専門家、
2:54:07	が、
2:54:08	当時そのような思い込みしたっていう
2:54:11	ことで、当然品質管理チームは多分技術型ではないと思うので、そういう動き、思い込みはなかった。
2:54:19	と読み方でいいんですよこれ一応矢印と右側と左対応してると。
2:54:24	中部電力浜野でございます。今鈴木さんおっしゃられた通り 4 ページは、ここのフローの中のどこかという形で、まず、お示しさせていただいた上で、
2:54:36	6 ページに、そこを明確に記載させていただいてまして、括弧書きで、誰がこの原因を起こしたかという主語を、
2:54:49	入れた上で、対応は誰がやるかというのを括弧書きのタイトルの的に記載をさせていただいている状況でございます。
2:55:01	はい、ありがとうございます。
2:55:04	ちょっと待ってください。一応これはライン外専門家が資料チェックに入ったのは、
2:55:10	前の審査会合資料で見ると 2018 年の 5 月か。
2:55:15	この時点で、
2:55:18	ライン外の専門家が見ることになっていたもので、本件と当てはめ、3 ページの時系列で当てはめると、
2:55:26	一番最初の、
2:55:28	一番最後、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:33	もうあれですね鳥栖数字を、
2:55:37	データを加えて、誤った記載をしたときには、一応このライン外専門家は入ってるんですね。はい、わかりました。
2:55:46	この原因分析のところ
2:55:50	グループ長と、土建部長について、どういう認識だったかが書いてないんですけど、
2:55:57	これは、
2:55:59	もっと当時なので、今の2人ではないと思うんですけど、
2:56:03	これは何ていうか、科学的にはこういう差がありますよという話をしたから何か報告受けて、
2:56:09	まあそうだなということなのか、特にここのチェック段階ではですね、あまりその点については、見ないというか、そういう仕組みなのかそこはいかがなんでしょうか。
2:56:23	中部電力天野でございます。はい、おっしゃる通りで、グループ長盲導犬部長も資料承認の過程で当然同じような考え方で、
2:56:33	進めなければいけないということでございますので少し素行も、
2:56:41	特に6ページのところの方では出ささせていただければと思います。基本的なライン外専門家と同様に、グループ長や土建部長も、
2:56:52	同じように確認はしているという状況でございますので、6ページに行くところの内外専門家のみならず、グループ長、現職土建部長も、批判的な目線がおろそかになってしまったという、
2:57:07	原因がでございますのでそちらの方は追記させていただきたいと思えます。
2:57:13	あ、すみませんそれが事実なのであればそう書けばいい。よろしいですし、
2:57:18	特にここの米印の2段長落丁とかそういうところのチェックで、
2:57:23	まわしているんであれば別に書けないと思いますので、
2:57:27	はい。
2:57:28	ちょっとそういう意味で言うと5ページ、6ページ前回はいわゆる主たると副次的というふうに書いてたので、
2:57:35	いわゆる何が問題だったのかってところが軽重が逆についてしまってたんですけど、
2:57:42	わかりましたこれむしろあれですか、4ページというよりは6ページのところに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:47	当時のいわゆる青枠で囲ってあるグループ章土建部長。
2:57:53	どういう認識低酸素の点についてはどうやって海成、改善するのかっていうのを書かれるということですね。はい。
2:58:01	7 ページは
2:58:03	C R 登録した後の結果ファクトなので、ここは特には結構だと思えますけど、
2:58:09	はい。
2:58:16	はい。あとすいません、これ単なる誤記だと思いますけど、どこだったっけな。
2:58:21	後ろの参考の、すみません 19 ページの、
2:58:26	黄色い矢印二つありますけど、多分時系列的に言うところの 1041 回は 1035 回じゃないでしょうかという、
2:58:36	これ単なる記載、動きだと思いますけども、
2:58:46	廃棄物ニカモノです。そうだと思いますすみませんちょっと確認して適正化させていただきます。
2:58:52	はい。多分慶長に報告、誤記の間違いを確認して報告しましたというのが、
2:58:58	1041 回というかそれ 1035 回だと思いますのではい。ちょっと確認ください。これは、
2:59:04	介護買い物資料出すときに、治ってばいいと思いますけど。はい。
2:59:08	私からはすみません確認したかったのは以上です。
2:59:12	すみません、もう 1 個すみません。そういえば本社の場合は、こういう資料を作られる時に、いわゆるその外部の委託先っていうデータを解析する先ではなくて、
2:59:25	今日もおられますけど電中研さんも入ってると思うんですけど、
2:59:29	それは、この流れの中だとどうなる。
2:59:32	いいですか。今後、特に地質系だとかなり入り込んでると思うんですけど。
2:59:44	中部電力天野でございます。7 ページで言うところの、鳥栖そうですね電中研さんにいろいろお願いしているようなところでいけばここでいうと委託先の
2:59:57	インプットアウトプットの整合という中で、確認をいただいているということになるかと思っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:00:06	なるほど今回は単純なその数値の話だったので、今回の検討はダイレクトではないと思いますけど、ここはあくまで委託先ってところですね。はい、わかりました。
3:00:20	はい。チームリーダー。いや例えば、笹木さんのような方にいろいろご相談申し上げてるっていうのはここで
3:00:29	技術的に経験豊富な専門家という位置付けになります。電中研の方をお願いしている中身によってどこで、
3:00:39	関わっていただくかは変わってきていると思っております。
3:00:46	はい、わかりました。
3:00:52	ほか、もう今日前日も方法中身は確認しましたが、確認し6点ある片岡おられますか。
3:01:05	大丈夫そうですかはい。
3:01:06	最後に本県というか際の地質も通してですけども、中部電力の方からこちら側に何か確認しておくというのがありますでしょうか。なければ終わりにします。
3:01:22	一部電化ものでございます。ありがとうございました。
3:01:26	今日ご確認いただいたところで
3:01:29	特にわかりにくいところはしっかり反映して対応させていただきたいと思いますよろしく願いいたします。
3:01:38	はい。それではじゃ、ヒアリングの方、これで終わりたいと思います。ご苦労様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。